

令和3年度

事業年報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

鹿児島県支部

赤十字基本原則

(1965 年ウィーンで開催された第 20 回国際会議議決)

人道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取扱う。

中立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独立 赤十字は独立である。各国赤十字は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律には従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

ご あ い さ つ

皆様には、日頃から赤十字事業にご理解をいただき、支部事業の推進にお力添えを賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、192の国や地域に広がる国際赤十字の一員として、世界中で絶え間なく起こる災害や紛争の被災者への救援活動、疾病や感染症などの健康問題に苦しむ人々のための保健衛生事業等を、各国の赤十字社と連携して展開しています。

世界各地で新型コロナウイルス感染症が蔓延していますが、日本赤十字社では、発生当初から全国の赤十字病院において感染者の受入れや治療を行うとともに、県支部におきましては、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対応として県広域医療調整本部に職員を派遣しております。

日本国内におきましては、昨年7月の大雨により静岡県熱海市で大規模な土石流災害が発生するなど、各地で多くの方々が被災され、尊い人命が失われました。

日本赤十字社では、全国の支部等の連携のもと、救援物資の輸送・配分、医療救護班やこころのケア班の派遣とともに、義援金募集を行いました。

鹿児島県内におきましても、昨年7月の大雨により北薩地方を中心に土砂災害や住家被害などが発生したため県支部では、救援物資（毛布・タオルケット・ブルーシート等）の輸送・配分を行いました。また、昨年12月には十島村からの要請に基づき、トカラ列島近海を震源とする地震により震度5強を観測した悪石島に鹿児島赤十字病院の看護師及び支部事務局職員計2名を約1週間派遣し、地元保健師の活動支援等を行いました。

このように、いどこで大きな災害が発生するかわからない昨今、県支部では、迅速かつ機動的に対応できるよう災害救護体制の強化に努め、併せて県民の皆様に対する「防災・減災教育」の活動を更に充実させていきたいと考えております。

病院事業については、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしてきました。

血液事業については、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液の安定供給に努めました。

社会福祉事業については、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして、質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

これらの事業をはじめ、令和3年度の各種支部事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けながらも、オンライン形式や研修プログラムの変更、感染防止対策の徹底などにより概ね展開することができました。これもひとえに、皆様方の赤十字事業へのご理解とご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

なお、赤十字の活動を支える財政的基盤である社資の募集は、地区・分区等におきまして町内会・自治会、赤十字奉仕団、赤十字有功会等のご協力を得ながら行っておりますが、年々厳しさが増す中、さらに赤十字の活動をご理解いただけるよう積極的な啓発と広報に努めるとともに、県民の皆様の期待に応えられるような活動の充実に図ってまいりたいと考えております。

ここに令和3年度の事業実施状況を報告いたしますので、ご高覧のうえ、今後とも県民の皆様のおなご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

日本赤十字社鹿児島県支部
支部長 塩田 康一

目 次

1	災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 常備救護班の設置	
	(2) 災害救護活動	
	(3) 災害救護訓練等の実施	
	(4) 救援物資の備蓄・配分	
	(5) 救護資機材の整備	
	(6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充	
	(7) 救急用担架の配備	
	(8) 洋上での遭難者に対する救援	
	(9) 臨時救護	
	(10) 非常時の炊き出し訓練の実施	
	(11) 赤十字防災セミナーの実施	
	(12) 死亡弔慰金の支給	
	(13) 義援金の取扱い状況	
2	看護師の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
3	救急法等の講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	(1) 救急法	
	(2) 水上安全法	
	(3) 健康生活支援講習	
	(4) 幼児安全法	
	(5) 救急法等指導員の在籍状況	
4	赤十字奉仕団の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
	(1) 赤十字奉仕団組織図	
	(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数	
	(3) 地域赤十字奉仕団結成状況	
	(4) 総会及び研修会等開催状況	
	(5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況	
	(6) 地域高齢者生活支援事業の実施	
	(7) 赤十字奉仕団登録一覧表	
5	青少年赤十字の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
	(1) 校種別加盟状況	
	(2) 加盟校の推移	
	(3) 会議等の参加及び開催	
	(4) 研修活動	
	(5) 高校協議会の活動	
	(6) 機関紙の発行	

(7) その他の青少年赤十字活動	
(8) 校種別加盟校名簿	
6 国際活動	34
(1) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集	
(2) 海外救援金の取扱い状況	
(3) その他	
7 広報活動	36
(1) 5月の会員増強運動月間広報	
(2) 各種イベント等の活用による広報	
(3) 見学誘致・出前講座による広報	
(4) 刊行物による広報	
(5) インターネットによる広報	
(6) SDGsへの取組み	
8 赤十字大会	40
(1) 全国赤十字大会	
(2) 九州八県赤十字大会	
(3) 鹿児島県赤十字有功会総会	
9 会員増強運動	41
(1) 令和3年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移	
(2) 令和3年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）	
(3) 令和3年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対前年度比較）	
(4) 令和3年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表	
(5) 令和3年度赤十字会員増強運動功労表彰	
(6) 過去5カ年間の種別会員数の推移	
(7) 令和3年度一般社資金額別内訳一覧表	
(8) 令和3年度法人社資金額別内訳一覧表	
(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿	
10 医療事業	50
(1) 一般医療	
(2) 医療救護活動	
(3) へき地医療	
(4) 保健衛生事業	
(5) 相談援助・地域連携	
11 血液事業	56
(1) 採血・供給実績	
(2) 献血推進	
(3) 献血受入・献血予約の推進	
(4) 供給体制	

- (5) 医薬情報活動
- (6) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力
- (7) 骨髄バンク事業
- (8) 献血功労者表彰

1 2 社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 2

- (1) 指定介護老人福祉施設事業
 - (2) 短期入所生活介護事業
 - (3) 入居者へ質の高いサービスの提供
 - (4) 入居者の安全対策・環境整備
 - (5) ボランティアの受入れと地域との連携
 - (6) 実習生の受入れ
 - (7) 地域貢献活動について
 - (8) 広報活動について
 - (9) その他
- (参考) 令和3年度における入居者の状況

1 3 評議員会及び監査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 0

- (1) 支部評議員会
- (2) 業務監査
- (3) 地区・分区関係各種会議等

1 4 決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 2

- (1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算書
- (2) 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
- (3) 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 5

- 本社及び支部組織図等
- 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
- 日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
- 日本赤十字社現勢
- 支部の現勢
- 支部の沿革

1 災 害 救 護

災害救護は、日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、当県支部では救護班を常備するとともに、災害救護活動の速やかな実施や各種救護訓練、災害救護資機材等の整備に努めた。

(1) 常備救護班の設置

日本赤十字社救護規則に基づいて、8 常備救護班を設置し、災害救護活動に備えた。

◎常備救護班の編成状況

	医 師 _(人)	看護師長 _(人)	看 護 師 _(人)	主 事 _(人)	計 _(人)
1 個 班 の 編 成	1	1	2	2	6
常 備 要 員 数	8	8	16	16	48

(2) 災害救護活動

ア 7月大雨による被害

6月末から7月上旬にかけて停滞した前線の影響により、広い地域で大雨となった。

九州地方でも7月9日から10日にかけて雷を伴う非常に激しい雨が断続的に降り、住家被害が発生した。

鹿児島県支部では県内の各地区・分区から情報を収集し、救援物資を輸送・配分（補充を含む）した。

実施日	配付地域	配付数			
		毛 布 _(枚)	タオルケット _(枚)	緊急セット _(セット)	ブルーシート _(枚)
7月12日	薩摩川内市	21	21	7	7
7月12日	湧水町	11	11	7	7
7月13日	さつま町	18	18	9	9
7月14日	薩摩川内市	5	5	3	3
7月16日	伊佐市	20	20	10	10
7月17日	伊佐市	44	44	21	21
7月18日	伊佐市	3	3	2	2
7月19日	伊佐市	7	7	4	4
7月20日	薩摩川内市	1	1	1	1
7月28日	出水市	2	2	2	2
計		132	132	66	66

イ トカラ列島近海の群発地震への対応

4月9日からトカラ列島近海で地震が続き、12日までに悪石島では震度4の地震5回を含む計222回の地震が発生したことから、4月14日に、鹿児島赤十字病院の医師が巡回診療と併せて島民の方々の話を傾聴した。

また、12月4日からも同様に地震が続き、9日に悪石島で震度5強を観測した。

十島村役場からの支援要請を受け、鹿児島赤十字病院の看護師と支部事務局の職員を12月10日から約1週間派遣した。



住民への声かけ等を行う看護師

(3) 災害救護訓練等の実施

ア 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

「日向灘沖約5km付近を震源とするM7.5の地震が発生し、市街地では家屋の倒壊や火災が多数発生、また海岸部では津波による被害も発生している。」との想定で、11月28日(日)に日赤宮崎県支部主催により実施された合同訓練に参加した。

・参加者 日赤鹿児島県支部 3人

イ 鹿児島県支部災害対策本部立上訓練

3月17日(木)に、日赤鹿児島県支部事務局内において災害対策本部立ち上げ時のマニュアルの検証を目的とした訓練を実施した。

ウ 各機関が実施する防災訓練への参加

(ア) 鹿児島県総合防災訓練

5月23日(日)に鹿児島県主催による防災訓練が姶良市で予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(イ) 桜島大規模噴火を想定した市街地側住民避難訓練(リモート形式)

桜島の火山活動が活発化し、警戒範囲が全島に拡大し噴火警戒レベルが4から5に引き上げられる段階で、桜島上空において市街地側への風が継続する状況を想定し、9月1日(水)に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者 日赤鹿児島県支部 1人

(ウ) 多数傷病者事故対応訓練

9月9日（木）に鹿児島市消防局主催で訓練が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(エ) 鹿児島空港航空機事故対処総合訓練（情報伝達訓練）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、10月7日（木）に訓練規模を縮小し実施された情報伝達訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
------	----------	----

(オ) 桜島火山爆発総合防災訓練（図上訓練）

「桜島の大規模爆発に対し、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関の認識の共有、各機関の役割・能力の確認及び相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る。」ことを目的に、10月29日（金）に鹿児島県主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	1人
	計	2人

(カ) 第52回桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）

桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まったとの想定で、11月20日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	鹿児島赤十字病院	5人
	鹿児島県赤十字血液センター	1人
	計	9人



活動の指示を受ける救護班



要支援者の避難支援

(キ) 第52回桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験・展示訓練）

「大規模噴火に備えた避難行動を学び、防災意識を次世代につなげる」をコンセプトに、1月8日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	日赤鹿児島市地区	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	7人
	鹿児島中央赤十字奉仕団	30人
	計	41人



鹿児島県支部の展示ブース



アマチュア無線奉仕団

(ク) 鹿児島県原子力防災訓練に係る避難退域時検査実施訓練

2月11日（金）に鹿児島県主催の訓練に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施規模が大幅に縮小されたため、当県支部は不参加となった。

エ 救護員研修

(ア) 鹿児島県支部救護員基礎研修

多様な災害に対応できるよう、災害時の役割を認識し、新たな救護体制を再構築するとともに、救護員の量的確保並びに質的向上を図ることを目的に、16時間（2日間）のカリキュラムで、鹿児島県支部管内職員を対象とした基礎研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(イ) 救護員フォローアップ研修

救護員基礎研修の受講から3年が経過した既受講者を対象に、近年の災害救護活動や日赤の救護体制についての理解を深めることを目的としてフォローアップ研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(ウ) こころのケア研修会

災害発生時に、従来の救護活動に加えて被災者に対するこころのケアの実施方法と、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を習得することを目的とした研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(エ) 全国赤十字救護班研修会

災害の超急性期医療を含めた日赤救護班の強化と技術の向上を目的に、日本赤十字社本社の主催で年3回の研修が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(オ) 日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会（オンライン形式）

日本赤十字社災害医療コーディネートチームの活動について、過去の災害にかかる実働の検証・総括を踏まえた活動事例の情報を共有し、現コーディネートチームの更なる活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に、日赤本社の主催により実施された研修会に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	2人
	計	3人

(4) 救援物資の備蓄・配分

災害発生時に速やかに被災者へ救援物資を配分できるよう、支部倉庫に加え県内36の地区・分区等に常備地区を設け、迅速な配分に備えている。

ア 救援物資の備蓄状況

令和4年3月31日現在

品名 備蓄先	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット)※	ブルーシート (枚)
支部倉庫	1,733	578	2,266	0	1,096
36常備地区	1,943	930	1,263	466	1,125
計	3,676	1,508	3,529	466	2,221

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

イ 救援物資配分基準

品名	災害区分	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水
毛布	被災者1人につき	1枚
緊急セット (タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等)	被災世帯1世帯につき	1セット
タオルケット	被災者1人につき	1枚
ブルーシート	被災世帯1世帯につき	1枚

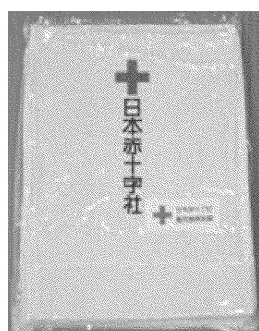
- (注) ・世帯標準構成員は4人を想定。
・死亡者は世帯構成員に加えない。
・この基準は非住家には適用しない。



毛 布



緊急セット



タオルケット



ブルーシート

ウ 救援物資常備地区及び配分区域

令和4年3月31日現在

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市(市)	鹿児島市	南九州市(社)	南九州市
鹿屋市(社)	鹿屋市	伊佐市(社)	伊佐市
枕崎市(社)	枕崎市	姶良市(社)	姶良市
阿久根市(社)	阿久根市、長島町	さつま町(社)	さつま町
出水市(社)	出水市	湧水町(社)	湧水町
指宿市(社)	指宿市	大隅(地)	東串良町、錦江町 南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市(社)	西之表市	熊毛(支)	中種子町、南種子町
垂水市(社)	垂水市	大島(支)	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市(社)	薩摩川内市 (上甕町、下甕町以外)	瀬戸内町(社)	瀬戸内町
薩摩川内市 上甕町(社)	薩摩川内市上甕町	喜界町(社)	喜界町
薩摩川内市 下甕町(社)	薩摩川内市下甕町	徳之島町(社)	徳之島町
日置市(社)	日置市	天城町(社)	天城町
曾於市(社)	曾於市	伊仙町(社)	伊仙町
霧島市(社) 【国分】	【国分市、隼人町、福山町、溝辺町】	和泊町(社)	和泊町
霧島市(社) 【牧園】	【牧園町、横川町、霧島町】	知名町(社)	知名町
いちき串木野市(社)	いちき串木野市	与論町(社)	与論町
南さつま市(社)	南さつま市	屋久島事務所(支)	屋久島町
志布志市(社)	志布志市	支部直送	三島村
奄美市(社)	奄美市		十島村

※【 】内は旧市町村名。

(社) 社会福祉協議会・(市) 市役所・(地) 地域振興局・(支) 支庁

エ 支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和4年3月31日現在

	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数
支 部	1,963	0	0	230	1,733	689	1	1	111	578	0	0	0	0	0	2,199	366	19	280	2,266	622	574	0	100	1,096

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	77	30		28	79	55	6		7	54	32			5	27	79	30		23	86	58	10		12	56
鹿 屋 市	33	20		22	31	23	6		10	19	1			1	0	37	20		22	35	27			10	17
枕 崎 市	20			0	20	14			0	14	15			0	15	20			0	20	42			0	42
阿久根市	22			2	20	12			1	11	5			2	3	27			2	25	16			1	15
出 水 市	65			8	57	30			7	23	36			7	29	19			8	11	21			7	14
指 宿 市	28	10		1	37	17	6		1	22	4			0	4	29	10		1	38	17			1	16
西之表市	41			4	37	9			2	7	6			2	4	41			4	37	26			2	24
垂 水 市	41			0	41	30			0	30	20			0	20	18			0	18	21			0	21
薩摩川内市	131			41	90	61			17	44	13			3	10	114			41	73	84			17	67
薩摩川内市 (上 瓶)	20			0	20	16			0	16	0			0	0	19			0	19	34			0	34
薩摩川内市 (下 瓶)	6			0	6	17			0	17	11			0	11	21			0	21	23			0	23
日 置 市	25			3	22	22			3	19	9			1	8	28			3	25	23			4	19
曾 於 市	55			3	52	48			2	46	29			2	27	54			3	51	38			2	36
霧 島 市 (国 分)	33			11	22	37			4	33	18			0	18	52			11	41	41			4	37
霧 島 市 (牧 園)	17			0	17	12			1	11	5			1	4	22			5	17	12			0	12
いちき 串木野市	25			0	25	26			0	26	13			0	13	27			0	27	25			0	25
南さつま市	77			11	66	48			5	43	48			5	43	37			5	32	49			3	46
志布志市	23			3	20	15			1	14	0			0	0	19			3	16	15			1	14
奄 美 市	62			5	57	63			3	60	41			3	38	127			0	127	134			2	132
南九州市	9			2	7	5			1	4	8			1	7	13			2	11	9			1	8
伊 佐 市	27	100		76	51	44	30	1	38	35	39			38	1	27	100	2	76	49	39	30		38	31
さつま町	10	20		21	9	6	12		11	7	6			2	4	7	20		21	6	8	10		11	7
湧 水 町	10	20		13	17	4	27		14	17	0			0	0	0	30		14	16	2	25		11	16
始 良 市	55			2	53	8			2	6	2			0	2	52			2	50	21			1	20
大隅地区	98			5	93	66	6		2	70	65			1	64	73	20	17	4	72	65	5		2	68
熊毛地区	109			2	107	34			2	32	28			2	26	41			2	39	30			2	28
大島地区	565			0	565	56			0	56	36			0	36	76			0	76	103			0	103
瀬戸内町	43	20		10	53	16	12		3	25	0			0	0	16	40		10	46	16	15		3	28
喜 界 町	17			0	17	10			0	10	0			0	0	14			0	14	11			0	11
徳之島町	53			0	53	26			0	26	0			0	0	33			0	33	29			0	29
天 城 町	46			1	45	36			1	35	4			1	3	34			1	33	32			1	31
伊 仙 町	12			0	12	11			0	11	0			0	0	10			0	10	23			0	23
和 泊 町	18			0	18	19			0	19	7			0	7	20			0	20	17			2	15
知 名 町	32			0	32	18			0	18	15			0	15	9	10		0	19	17			0	17
与 論 町	27			0	27	26			0	26	10			0	10	15			0	15	20			0	20
屋久島事務所	65			0	65	18	6		0	24	17			0	17	35			0	35	15	5		0	20
常備地区計	1,997	220	0	274	1,943	958	111	1	138	930	543	0	0	77	466	1,265	280	19	263	1,263	1,163	100	0	138	1,125

※返却の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の補充戻入に反映される。

※常備地区間の補充も受入・配分数に計上している。

(5) 救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、新たに次の救護資機材を整備・更新した。

ア 県支部における救護資機材の整備

(ア) 情報収集やデータ等の送受信を目的とした機器を整備した。

- ・タブレット端末 (iPad) 1 台
- ・モバイルプリンター 1 台

(イ) 停電時や電源が確保できない場所での活動時における電源確保を目的とした機器を整備した。

- ・ポータブル電源 (ソーラーパネル含む) 1 式

イ 地区・分区における救護資機材の整備

(ア) 救援物資輸送などの災害救援活動及び日常の情報収集活動等に不可欠な救援車を整備するため、2 地区分区にそれぞれ 60 万円の補助金を交付した。

(交付先)

地区・分区名	交付額 (円)
いちき串木野市地区	600,000
瀬戸内町分区	600,000
計	1,200,000

(イ) 救援物資を安全に保管するため、2 常備地区の救援物資の保管倉庫を更新した。

- ・霧島市地区 (牧園分区)
- ・湧水町分区

ウ 支部における救護資機材の整備状況

令和4年3月31日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1 式	浄水機	1
無線装備 (150MHz 帯)	基地局(固定局)6 移動局 57	発電機	7
無線装備 (400MHz 帯)	基地局 1 移動局 23	投光機	8
無線装置 (二重免許)	携帯基地局 6 携帯局 2	炊き出し用釜セット	6
携帯電話	8	医療セット	3
衛星電話	可搬型 2 車載型 1	携帯型医療セット	1
通信機器 (パソコン、スマートフォン、 iPad、モバイルプリンター)	各 1	マジックギブス	3
ポータブル電源 (ソーラーパネル含む)	1 式	アンビュバッグ	3
トランシーバー	10	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	12
救急車	支部 1 病院 1	寝袋	30
災害救援車	3	寝袋用マット	10
災害連絡車	4	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
患者用エアーテント	1	医療セット置き台	2
診療用エアーテント	1	輸液ポンプ	10
フレーム式拡張テント	3	簡易型心電図モニター	1
災害用テント	3	携帯型除細動器	1
担架	37	ポータブル人工呼吸器	1
担架架台	10	GPS 機能付車載無線機	1

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用	
												数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	51・54 56・60・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	52・63									16	H2
	吉田町			2	56・H4									5	H2
	桜島町			3	51・62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	H22	2	61・H5									30	H2
	輝北町			2	56・H4			1	H13	1	62	1	H1	6	H4
	串良町			2	51・62			1	H12	1	62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	63	1	H1	5	H4
枕崎市		1	R1	1	H13	1	58	1	H13						
阿久根市		1	H19					1	H13						
出水市	出水市	1	H28	1	H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町							1	H16						
	高尾野町							1	H13			1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	1	H16			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	63			1	H2
西之表市		1	H15					1	H13	1	H2	1	H1		
垂水市				1	H13			1	H14	1	H2			6	H2
薩摩川内市	川内市			3	51・61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	56・H5			1	H15	1	63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	59・H5			1	H15	1	62			6	H3
	里村	1	H11	2	55・H3					1	63			6	H3
	上甕村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甕村	1	H29	2	52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甕と合併								1	63				
日置市	東市来町	1	H28	2	54・H1			1	H15	1	63			8	H3
	伊集院町	1	R2	3	53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曾於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	55・H2					1	62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	1	H23					1	H16						
	溝辺町			2	54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	R3	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	63				
	隼人町			1	54			1	H16	1	H2				
	福山町	1	H16	1	H4					1	63				
いちき串木野市	串木野市	1	R3	2	61・H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	56・H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	56・H5			1	H15	1	62				
	金峰町							1	H13						

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4
	志布志町	1	H18					1	H15	1	62			3	H4
	有明町	1	H25					1	H12	1	62			1	H4
奄美市	名瀬市			1	63	1	H25	1	H15						
	住用村									1	H1				
	笠利町			2	54・H2			1	H16	1	H1				
南九州市	頤娃町	1	H19	2	53・H1			1	H21	1	62			7	H2
	知覧町	1	H12	2	54・H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2
	川辺町	1	H12	2	53・H1	1	H12			1	62			8	H2
伊佐市	大口市	1	H18	3	51・62・H13	1	60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2
	菱刈町	1	H30	2	55・H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4
	加治木町			2	54・H1			1	H16	1	H2				
姶良市	姶良町	1	H16	2	53・H1			1	H18	1	63				
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	63				
三島村		1	H3	2	56・H5							1	H3	5	H2
十島村				2	56・H5									8	H2
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7								
	鶴田町	1	H12	2	53・H1			1	H14	1	63				
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13						
長島町	東町	1	H1	2	54・61					1	61	1	H3	11	H3
	長島町	1	H24	2	H1・H13			1	H12	1	61	1	H1	5	H3
湧水町	栗野町			2	55・H3	2	H10・R3	1	H14	1	63				
	吉松町	2	H13・H22	1	H4			1	H14	1	63	1	H1		
大崎町		1	H16	2	55・H2			1	H14	1	62	1	H1	1	H4
東串良町				2	55・H2					1	62	1	H1	3	H4
錦江町	大根占町	1	H14	2	63・H13			1	H16	1	62			9	H4
	田代町			2	56・H5			1	H15	1	61	1	H1	4	H4
南大隅町	根占町	1	H12	2	55・H3			1	H14	1	61			17	H4
	佐多町			2	56・H5			1	H13	1	61				
肝付町	内之浦町			2	54・H2			1	H15	1	61				
	高山町	2	H20・H27	2	61・H5			1	H16	1	63				
中種子町										1	62				
南種子町				1	H1			1	H16	1	61	1	H1		
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	62				
	屋久町	1	H28					1	H16	1	63	1	H1		
大和村				2	61・H5			1	H12					7	H4
宇検村		1	H26	2	55・H3			1	H16	1	62			6	H4
瀬戸内町		1	R3	2	53・H1			1	H14	1	62			21	H4
龍郷町		2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15					8	H4
喜界町		1	R1	1	H1			1	H16	1	62			10	H4
徳之島町		2	H21・R2	2	61・H5	1	H10	1	H15	1	62	1	H1		
天城町		1	H27	1	H3			1	H15	1	62				
伊仙町		1	H27	2	55・H3			1	H14	1	62			9	H4
和泊町		1	H29	1	H4			1	H14	1	62	1	H3	5	H4
知名町		1	H29	1	H2			1	H14	1	62			6	H4
与論町		1	H30	2	61・H5			1	H16	1	62	1	H3	4	H4
鹿児島															
北薩														1	H3
姶良・伊佐				2	54・H2	1	H11					1	H1	1	H4
大隅				3	53・H1	1	H6					1	H1		
熊毛				1	H3									1	H4
大島				1	62	1	R1							1	H4
屋久島事務所						1	56								
計		62		143		20		73		71		32		459	

※整備年度欄の「H」は平成、「R」は令和、数字のみの記載は昭和

（６）赤十字救護連絡所の医薬品等補充

自然公園財団高千穂河原支部（２カ所）に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

（７）救急用担架の配備

不特定多数の人が集合、通過する場所で急病人やけが人が発生した場合、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

○駅

鹿児島中央、鹿児島、出水、指宿、隼人、吉松

○港

鹿児島港、鹿児島新港、西之表港、名瀬港、亀徳港、和泊港、宮之浦港、垂水港、鴨池港、桜島港

○公園等

吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北うわば公園

○体育館

指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市（国分、隼人）、垂水市、曾於市

○運動場

県立野球場、県立陸上競技場、県立体育館

○神 社

霧島神宮、新田神社、護国神社

（８）洋上での遭難者に対する救援

第十管区海上保安本部所属の巡視船に、洋上での遭難者等に配分することを目的として分置している救援物資を、次のとおり配分した。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付

令和４年３月３１日現在

品 名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛 布	130	10	2	138
作 業 服 （ 上 下 ）	上 130 下 130	上 12 下 12	上 4 下 4	上 138 下 138
肌 着	130	10	2	138
日 用 品	130	10	2	138
ス リ ッ パ	130	10	2	138

※前年度繰越は、船舶及び十管本部在庫分の合計

(9) 臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に主催者の要請を受け、救護員や看護師を派遣している。

ア 「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」への救護班等派遣

例年、救護班1個班及び各種赤十字奉仕団を救護所に派遣しているが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、打ち上げ場所を分散し、時間を短縮したうえでの実施となり派遣の要請がなかった。

イ 「鹿児島マラソン」への救護班救護

例年、救護班1個班を救護所に派遣しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

ウ 式典や行事への看護師派遣

(ア)	延べ派遣日数	5日
(イ)	派遣看護師	6人
(ウ)	取り扱い患者数	1人

(10) 非常時の炊き出し訓練の実施

学校、町内会等の依頼により職員を派遣し、炊飯袋を使った炊き出し訓練を実施した。

- ・依頼件数 : 4件
- ・参加人数 : 155人

(11) 赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分らない災害から命を守るために必要な「自助」と「共助」の力を高めていただく「防災・減災教育」の一環として、赤十字防災セミナーを下記のとおり実施した。

回	実施日	実施地区(場所)	実施団体	受講者 (人)	実施内容
1	6月3日	南九州市	障害者支援施設慈生園	3	災害エスノグラフィー
2	7月11日	鹿児島市	西陵西町内会	26	災害図上訓練 (DIG)
3	7月31日	鹿児島市 (田上小)	南日本リビング新聞社 (防災・減災プロジェクト)	28	災害図上訓練 (DIG)
4	12月14日	鹿児島市 (赤十字会館)	鹿児島市川上校区社協	24	災害への備え
5	3月3日	南九州市	知覧中学校	80	災害への備え
6	3月15日	南九州市	障害者支援施設慈生園	7	災害エスノグラフィー

- ・災害エスノグラフィー：大規模災害での被災者の経験談を通じて、災害を迫体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- ・災害図上訓練 (DIG)：地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- ・災害への備え：災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。

(12) 死亡弔慰金の支給

自然災害（地震、台風、高潮、洪水等）及び火災により死亡した方の遺族に対し、死亡弔慰金（死亡者1人につき、20,000円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給金額 (円)
曾於市地区末吉分区	5	1	20,000
鹿児島市地区	10	1	60,000
出水市地区	10	1	20,000
南九州市地区頰娃分区	11	1	20,000
薩摩川内市地区入来分区	1	1	40,000
薩摩川内市地区樋脇分区	1	1	20,000
伊佐市地区	1	1	20,000
奄美市地区笠利分区	2	1	20,000
鹿児島市地区	2	1	20,000
鹿児島市地区	3	3	60,000
計		12	300,000

(13) 義援金の取扱い状況

国内において発生した災害被災者を救援するため義援金の募集を行い、次のとおり県民の皆様から温かい善意が寄せられた。

令和4年3月31日現在

義援金の名称（受付期間）	累 計	
	件数	金 額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金 （平成30年7月10日～令和4年6月30日）	631	99,994,784
令和2年7月豪雨災害義援金 （令和2年7月7日～令和4年3月31日）	384	25,663,281
令和3年2月福島県沖地震災害義援金 （令和3年2月24日～令和3年5月31日）	26	288,750
令和3年島根県松江市大規模火災義援金 （令和3年4月12日～令和3年5月31日）	12	30,134
令和3年7月大雨災害義援金 （令和3年7月9日～令和3年12月28日）	47	1,254,916
令和3年台風第9号等大雨災害義援金 （令和3年8月18日～令和3年12月28日）	15	169,008
令和3年8月大雨災害義援金 （令和3年8月23日～令和4年3月31日）	55	1,459,159
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金 （令和3年9月14日～令和4年3月31日）	17	82,078
令和4年3月福島県沖地震災害義援金 （令和4年3月23日～令和4年6月30日）	4	335,250
合 計	1,191	129,277,360

寄せられた義援金（県支部受付分）は、全額日本赤十字社本社を通じて被災自治体に送金している。

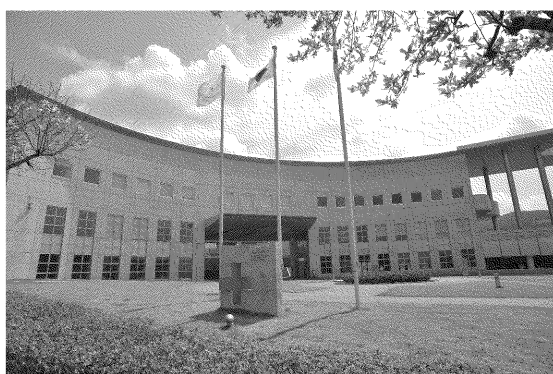
2 看護師の養成

鹿児島県支部及び鹿児島赤十字病院では、優秀な看護学生の就学を支援するために、日本赤十字九州国際看護大学の看護学生を対象とした奨学金制度を設けている。

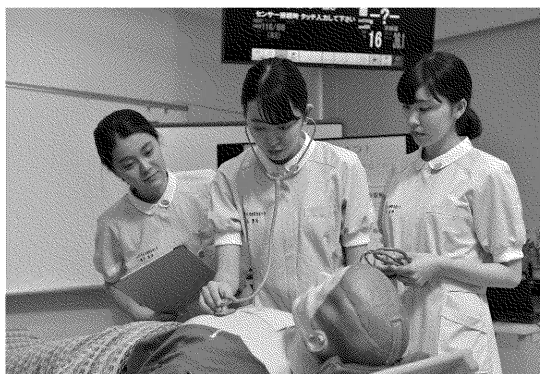
令和3年度は、下記のとおり奨学金を貸与した。

(1) 日本赤十字社鹿児島県支部 ※支部長の推薦を受けて入学した看護学生が対象
看護学生2名(3～4年生：各1人)へ年額900,000円を貸与

(2) 鹿児島赤十字病院
看護学生3名(2～4年生：各1人)へ年額700,000円を貸与



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

3 救急法等の講習

人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」及び「健康生活支援講習」の４種類の講習を、令和３年度は次のとおり実施した。

◇各種講習の開催状況

講習種別		回数（回）	受講者（人）
救 急 法	基 礎 講 習	20	451
	救 急 員 養 成 講 習	3	70
	短 期 講 習	133	7,436
	計	156	7,957
水 上 安 全 法	救助員養成講習Ⅰ	0	0
	救助員養成講習Ⅱ	0	0
	短 期 講 習	15	655
	計	15	655
健康生活支援講習	支 援 員 養 成 講 習	0	0
	短 期 講 習	27	733
	計	27	733
幼 児 安 全 法	支 援 員 養 成 講 習	0	0
	短 期 講 習	53	1,296
	計	53	1,296
合 計		251	10,641

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部対象を除き、一般普及講習（救急員・救助員・支援員養成講習）は中止した。

(1) 救 急 法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動、止血の仕方、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ講習。

ア 基礎講習

新型コロナウイルス蔓延下における救急法基礎講習の実施にかかる暫定措置を定めて実施した。

	実施日	対象	主 催	受講者(人)
1	5 月 26 日	学 生	加世田常潤高等学校（南さつま市）	9
2	6 月 2 日	職 域	鹿児島県警察学校（姶良市）	39
3	7 月 12 日	学 生	鳳凰高等学校（南さつま市）	20
4	7 月 13 日	学 生	鹿児島キャリアデザイン専門学校（鹿児島市）	33
5	7 月 22 日	一 般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	15
6	7 月 27 日	学 生	鹿児島城西高等学校（日置市）	19
7	8 月 8 日	学 生	志学館大学（鹿児島市）	26
8	8 月 30 日	学 生	薩摩中央高等学校（さつま町）	5
9	9 月 9 日	学 生	第一幼児教育短期大学（霧島市）	31
10	10 月 2 日	一 般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	13
11	10 月 9 日	職 員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	12
12	11 月 6 日	職 員	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	6
13	11 月 10 日	学 生	鳳凰高等学校（南さつま市）	19
14	11 月 16 日	職 域	鹿児島県警察学校（姶良市）	50
15	12 月 11 日	一 般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	13
16	12 月 14 日	職 域	鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島市）	16
17	1 月 18 日	学 生	国分中央高等学校（霧島市）	27
18	2 月 22 日	職 域	屋久島環境文化研修センター（屋久島町）	5
19	3 月 4 日	学 生	鹿児島キャリアデザイン専門学校（鹿児島市）	30
20	3 月 7 日	学 生	神村学園専修学校（いちき串木野市）	63
合計 20 回				451

イ 救急員養成講習

	実施日	対象	主 催	受講者(人)
1	10月9日～ 16日	職 員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	12
2	11月6日～ 20日	職 員	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	8
3	11月16日～ 18日	職 域	鹿児島県警察学校（姶良市）	50
合計 3 回				70

ウ 「ワールド・ファーストエイド・デー 2021」

国際赤十字・赤新月社連盟では、毎年9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー（世界救急法の日）」と定め、救急法等の普及を世界各地で行っており、鹿児島県支部もこれに合わせて普及活動を行った。

- ・9月16日（木）、17日（金）に県内の青少年赤十字加盟の小・中・高・特別支援学校の教職員を対象に、運動会や体育祭で起こりやすいけがなどに対する応急手当等の講習をオンラインで開催した。



オンライン講習の様子

エ 短期講習

県下各地域で133回実施し、7,436人の受講者があった。

（２）水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 親子で体験！「海の安全教室」

水に親しみ、水の事故から命を守るために必要な知識・技術を学んでいただくことを目的に計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ 短期講習

県下各地域で15回実施し、655人の受講者があった。

(3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ 短期講習

県下各地域で27回実施し、733人の受講者があった。

(4) 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ 短期講習会

県下各地域で53回開催し、1,296人の受講者があった。

(5) 救急法等指導員の在籍状況

令和4年3月31日現在

区 分	支部職員 (人)	施設職員 (人)	ボランティア (人)	計 (人)
救 急 法	6	28	78	112
水 上 安 全 法	1	10	32	43
健康生活支援講習	2	14	9	25
幼 児 安 全 法	2	9	24	35

4 赤十字奉仕団の活動

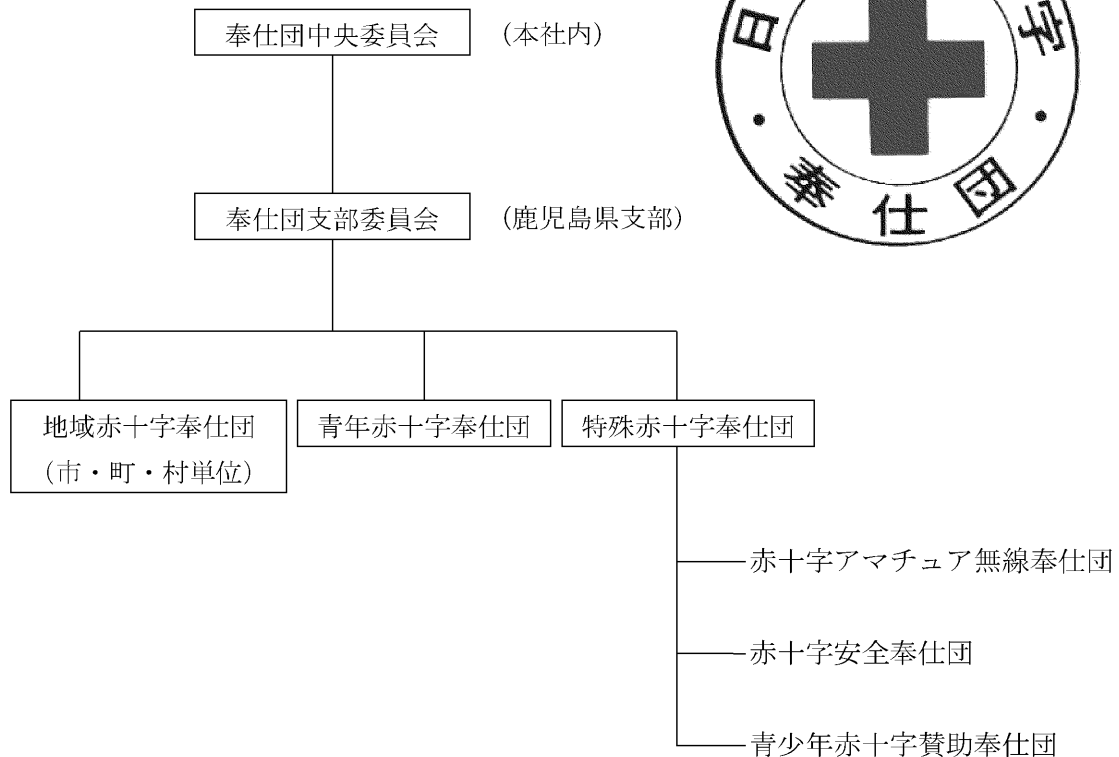
赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

赤十字奉仕団員の信条

一、すべての人びとのしあわせをねがい、
陰の力となって人びとに奉仕する。
一、常にくふうして人びとのために、
よりよい奉仕ができるよう努める。
一、身近な奉仕をひろげ、
すべての人びとと手をつないで、
世界の平和につくす。

(1) 赤十字奉仕団組織図



(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数

令和4年3月31日現在

区 分		団数	団 員 数		
			男 (人)	女 (人)	計 (人)
地 域 赤 十 字 奉 仕 団		60	174	12,902	13,076
青 年 赤 十 字 奉 仕 団		1	4	9	13
特 殊 奉 仕 団	赤 十 字 ア マ チ ュ ア 無 線 奉 仕 団	1	327	4	331
	赤 十 字 安 全 奉 仕 団	1	89	57	146
	青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	1	37	6	43
計		64	631	12,978	13,609

(3) 地域赤十字奉仕団結成状況

令和4年3月31日現在

区 別	市町村数 (A)	奉仕団結成地域 (B)	奉仕団数	結 成 率 (B/A) (%)
市	19	16	42	84.2
町・村	24	18	18	75.0
計	43	34	60	79.1

(4) 総会及び研修会等開催状況

行 事 名	期 日	参加者(人)	会 場	主 催
青年赤十字奉仕団総会	4月18日	7	赤十字会館	青年奉仕団
赤十字安全奉仕団総会	4月25日	53	赤十字会館 (オンライン併用)	安全奉仕団
青少年赤十字賛助奉仕団総会	7月22日	18	赤十字会館	賛助奉仕団
赤十字奉仕団鹿児島県 支 部 委 員 会	7月27日	14	県婦人会館	支部委員会 支 部
赤十字奉仕団委員長会議	中 止			支 部
赤十字ボランティア リーダーシップ研修	11月19日	28	赤十字会館	支 部
九州ブロック 赤十字奉仕団委員長会議	1月11～12日	2	福岡県支部	福岡県支部

(5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字についての知識や奉仕団活動に必要な技術を習得し、奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に次の8奉仕団が開催した。

当初は16の奉仕団が計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により半数が中止となった。

奉仕団名	開催日	参加者(人)	会 場
始良市蒲生	6月24日	30	蒲生高齢者福祉センター
始良市加治木	7月21日	35	加治木福祉センター
霧島市隼人	10月22日	40	天降川地区共同利用施設
喜界町	10月23日	20	喜界町老人福祉センター
さつま町	11月8日	20	佐志交流館
屋久島町	11月14日	20	こまどり館
霧島市牧園	11月16日	53	牧園農村活性化センター
伊佐市	1月18日	50	大口元気こころ館
合 計		268	

(中止となった奉仕団)

薩摩川内市川内、薩摩川内市樋脇、薩摩川内市東郷、薩摩川内市祁答院、奄美市名瀬、奄美市住用、龍郷町、宇検村

(6) 地域高齢者生活支援事業の実施

地域赤十字奉仕団が高齢者世帯を訪問し、話し相手・買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した。活動費の補助として次の27奉仕団に1団あたり3万円を交付した。

- ・鹿児島市谷山 ・鹿児島市城山きずな ・鹿児島市吉田 ・鹿児島市郡山
- ・指宿市指宿 ・薩摩川内市川内 ・薩摩川内市祁答院 ・日置市伊集院
- ・日置市吹上 ・霧島市隼人 ・霧島市牧園 ・南さつま市
- ・志布志市志布志 ・志布志市有明 ・奄美市住用 ・奄美市笠利
- ・南九州市知覧 ・始良市始良 ・始良市加治木 ・始良市蒲生
- ・さつま町 ・屋久島町 ・徳之島町 ・天城町
- ・伊仙町 ・和泊町 ・知名町

(7) 赤十字奉仕団登録一覧表

令和4年3月31日現在

番号	奉仕団名	結成年月日	団員数 (人)			番号	奉仕団名	結成年月日	団員数 (人)		
			男	女	合計				男	女	合計
1	鹿児島市	S25. 4. 1	0	15	15	36	南九州市顚娃	S24. 12. 1	0	58	58
2	鹿児島中央	S41. 4. 1	0	192	192	37	南九州市知覧	S24. 12. 1	0	265	265
3	鹿児島市谷山	S52. 4. 1	0	25	25	38	南九州市川辺	S24. 12. 1	0	61	61
4	鹿児島市吉田	S24. 12. 1	0	20	20	39	伊佐市	H2. 10. 5	47	99	146
5	鹿児島市郡山	S24. 12. 1	0	30	30	40	姶良市姶良	S30. 4. 1	0	21	21
6	鹿児島市城山きずな	R2. 4. 1	0	16	16	41	姶良市加治木	R2. 4. 1	0	50	50
7	鹿屋市	S24. 12. 1	0	100	100	42	姶良市蒲生	S24. 12. 1	0	84	84
8	出水市	H10. 3. 19	4	91	95	43	さつま町	S24. 12. 1	0	19	19
9	指宿市指宿	S24. 12. 1	0	26	26	44	大崎町	S56. 4. 1	0	40	40
10	指宿市山川	S24. 12. 1	0	35	35	45	錦江町※	S24. 12. 1			
11	西之表市	S24. 12. 1	0	31	31	46	南大隅町	S24. 12. 1	0	158	158
12	薩摩川内市川内	H3. 4. 17	0	165	165	47	肝付町	S24. 12. 1	0	88	88
13	薩摩川内市樋脇	S24. 12. 1	0	30	30	48	南種子町	S52. 4. 1	0	448	448
14	薩摩川内市入来	S56. 4. 1	0	45	45	49	屋久島町	S24. 12. 1	0	55	55
15	薩摩川内市東郷	S24. 12. 1	2	118	120	50	大和村	H元. 7. 21	0	75	75
16	薩摩川内市祁答院	S24. 12. 1	0	62	62	51	宇検村	H5. 7. 1	0	61	61
17	薩摩川内市下甕	H28. 4. 1	10	31	41	52	瀬戸内町	S62. 4. 28	0	388	388
18	日置市東市来	S24. 12. 1	0	10	10	53	龍郷町	S62. 5. 10	0	680	680
19	日置市伊集院	S24. 12. 1	0	70	70	54	喜界町	H2. 5. 17	0	668	668
20	日置市日吉	S24. 12. 1	0	100	100	55	徳之島町	H元. 4. 1	0	650	650
21	日置市吹上	S56. 4. 1	0	268	268	56	天城町	H元. 4. 1	0	700	700
22	曾於市大隅	S30. 4. 1	17	97	114	57	伊仙町	H元. 7. 1	0	240	240
23	曾於市財部	S38. 4. 1	27	62	89	58	和泊町	S59. 8. 15	0	408	408
24	曾於市末吉	S52. 4. 1	63	234	297	59	知名町	S62. 6. 1	0	278	278
25	霧島市国分	S24. 12. 1	0	346	346	60	与論町※	S62. 5. 1			
26	霧島市牧園	S24. 12. 1	4	111	115	地域奉仕団 計60団			174	12, 902	13, 076
27	霧島市霧島	S24. 12. 1	0	22	22						
28	霧島市隼人	S24. 12. 1	0	360	360	61	青年	S30. 4. 1	4	9	13
29	いちき串木野市	S24. 12. 1	0	3, 073	3, 073	青年奉仕団 計1団			4	9	13
30	南さつま市	S24. 12. 1	0	270	270						
31	志布志市志布志	S56. 4. 1	0	300	300	62	安全	S54. 2. 17	89	57	146
32	志布志市有明	S24. 12. 1	0	52	52	63	アマチュア無線	S50. 4. 1	327	4	331
33	奄美市名瀬	S60. 9. 1	0	250	250	64	賛助	H14. 11. 13	37	6	43
34	奄美市住用	H元. 7. 1	0	121	121	特殊奉仕団 計3団			453	67	520
35	奄美市笠利	S62. 9. 1	0	530	530	総計 64団			631	12, 978	13, 609

※錦江町・与論町地域赤十字奉仕団は活動休止（令和3年度～）

5 青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進しており、活動の充実のために児童・生徒対象の研修会や、各学校・園の指導者向けの講習会を行った。

わたくしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます

ち
か
い



実践目標

健康・安全
奉仕
国際理解・親善

態度目標

気づき
考え
実行する

(1) 校種別加盟状況

令和4年3月31日現在

区 分	加盟学校(園)	メンバー(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)	児童生徒(人)
幼稚園	15	1,330	108	6,868
保育園	27	1,293	—	—
認定こども園	20	2,248	256	18,041
小学校	283	50,073	492	88,630
中学校	116	22,883	216	45,287
義務教育学校	6	586	9	992
高等学校	24	10,696	89	41,754
特別支援学校	4	323	17	2,581
合 計	495	89,432	1,187	204,153

※鹿児島県内の学校(園)数、児童生徒数(保育園を除く)は令和3年4月6日現在。

(休校中の学校は除く。令和3年度「鹿児島県の教育行政」より)

保育所(園)は、教育委員会管轄でないため、園数・園児数については実数を把握できない。

(2) 加盟校の推移

年 度	区 分	幼・保	小学校	中学校	義務教育	高校	特別支援	小～特 小計	合計
令和3年	学校(園)数	62	283	116	6	24	4	433	495
	県加盟校率	－	57.5	53.7	66.7	27.0	23.5	52.6	－
	メンバー数	4,871	50,073	22,883	586	10,696	323	84,561	89,432
	県メンバー率	－	56.5	50.5	59.0	25.6	12.5	47.2	－
令和2年	学校(園)数	64	297	124		23	4	448	512
	県加盟校率	－	59.5	55.1		25.8	23.5	54.0	－
	メンバー数	5,263	51,355	22,852		9,853	320	84,380	89,643
	県メンバー率	－	57.2	50.9		23.1	12.9	46.9	－
令和元年	学校(園)数	72	307	131		23	4	465	537
	県加盟校率	－	60.6	58.2		25.8	23.5	55.5	－
	メンバー数	5,372	51,146	22,917		10,239	296	84,598	89,970
	県メンバー率	－	56.5	50.9		23.4	12.4	46.6	－

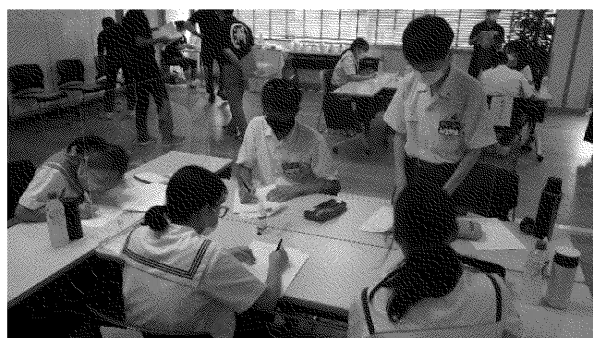
(3) 会議等の参加及び開催

	行 事 人	期 日	会 場	参加者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会(オンライン会議)	4月9日	赤十字会館	濱田囑託
	青少年赤十字全国指導者協議会総会(オンライン会議)	6月29日	赤十字会館	中村会長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会役員会(オンライン会議)	7月17日	赤十字会館	野村委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会会長・担当者会議	11月18日	赤十字会館	中村会長 濱田囑託
支部	青少年赤十字指導者協議会総会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		

(4) 研修活動

	行 事 名	期 日	会 場	参加者等
本 社	青少年赤十字 L・T・C 指導者 養成講習会(オンライン会議)	6 月 5 日	赤十字会館	参加者 3 人
	指導主事対象青少年赤十字 研究会(オンライン会議)	9 月 30 日	赤十字会館	県教委 指導主事
	青少年赤十字スタディー・ プログラム (オンライン会議)	12 月 25 日・26 日	赤十字会館	高校生 3 人 中学生 2 人
九 州	九州ブロック青少年赤十字 指導者講習会(オンライン会議)	8 月 18 日	沖縄県担当	参加者無し
支 部	校長・教頭・指導主事 対象青少年赤十字研修会	6 月 26 日	赤十字会館	参加者 15 人
	第 1 回青少年赤十字指導者 講習会	7 月 3 日	赤十字会館	参加者 7 人
	園児のための青少年赤十字 講習会	8 月 7 日	赤十字会館	参加者 7 人
	夏季小学校一日 L・T・C	8 月 4 日	赤十字会館	参加者 18 人
	夏季中学校一日 L・T・C	8 月 5 日	赤十字会館	参加者 30 人
	夏季高等学校一日 L・T・C	8 月 6 日	赤十字会館	参加者 19 人
	冬季小・中学校一日 L・T・C	11 月 27 日	国立大隅 少年自然の家	参加者 40 人
	青少年赤十字高校生協議会 春季総会 (オンライン併用)	3 月 13 日	赤十字会館	高校生 33 人

※L・T・C = リーダーシップ・トレーニング・センター



夏季中学校一日 L・T・C



校長・教頭・指導主事対象青少年赤十字研修会

(5) 高校協議会の活動

- ア 月例会の開催 (月 1 回)
- イ 特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問
 - ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により訪問を自粛した。
- ウ 献血ルームでのボランティア
 - ・ 献血ルームでの献血の呼びかけ。

(6) 機関誌の発行

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ・ 青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第39号）」 | 2,000部 |
| ・ 高校生機関紙「光輝（第30号）」 | 800部 |
| ・ 青少年赤十字賛助奉仕団広報誌「さくらじま(第11号)」 | 850部 |

(7) その他の青少年赤十字活動

ア NHK海外たすけあい街頭募金への参加

12月に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。

イ 病気見舞カードの作成

病院に入院されている人々に病気お見舞いカードを送付した。

ウ 使用済み切手・書損じはがきの回収

取り扱い団体が換金し、アジア、アフリカの医療に恵まれない人々の、保健医療の面でのサポートの資金として活用される。

エ ペットボトル・キャップの回収

取り扱い団体が換金し、予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代等として活用される。

オ 1円玉募金の実施

2カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。

カ プルタブの回収

学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、1円玉募金として、本社に送金した。

(8) 校種別加盟校名簿

ア 保育園・幼稚園・認定こども園

令和4年3月31日現在

市町村	保育園	幼稚園	認定こども園
鹿児島市	真砂、武 ほびあこども、柳田 南林寺、玉里、西紫原 清水、あたご、下伊敷 田上、鴨池、薬師 吉野、松原、なぎさ	太陽の子、鴨池しらうめ 鹿児島、武 鹿女短附属かもめ 鹿女短附属すみれ	玉里善き牧者、清谿 谷山善き牧者、千年 若葉、辻ヶ丘 桜ヶ丘中央
鹿屋市			信愛こどもの園
指宿市		柳和、指宿	いずみ
垂水市		江ノ島	カトリック垂水
薩摩川内市	高城、大村、隈之城 青山、勝目、あさひ	ひわき、かのこ	青山、善福寺、びばあ
日置市	あづま	土橋	
曾於市			大隅中央
始良市	川野		
霧島市			かとれあ、あおば
いちき串木野市		旭	
南さつま市		加世田しらうめ	
南九州市	颯娃		
さつま町			恵光
長島町		獅子島	
肝付町			おおぞら、あけぼの
屋久島町			すみれ
和泊町	わどまり		
知名町	しらゆり		
計	27園	15園	20園

市町村	小学校	中学校
鹿児島市	大明丘、名山、山下、城南、原良 明和、武岡、清水、福平、武 田上、広木、中洲、中名、八幡 紫原、鴨池、南、桜丘東、宇宿 向陽、伊敷、伊敷台、花野、黒神 谷山、吉野東、坂元台、清和、平川 坂元、中郡、花尾、皇徳寺、本名 宮、本城、牟礼岡、桜洲、東桜島 前之浜、石谷、春山、郡山、南方 生見、喜入、桜峰、瀬々串、西田 西紫原、大龍、西伊敷、吉田 ◎東谷山	坂元、甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 ◎黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、福平、桜丘 和田、吉野、星峯、喜入 錫山、松元
鹿屋市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大始良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大始良、細山田、高隈 田崎
枕崎市	枕崎、立神	立神
阿久根市	折多、脇本、大川 阿久根、田代、尾崎	阿久根、三笠、鶴川内
出水市	出水、西出水、米ノ津、米ノ津東 上場、野田、蕨島、下水流、	出水、高尾野、※鶴荘学園 大川内、米ノ津
指宿市	今和泉、開聞、川尻	南指宿、西指宿
西之表市	下西、上西、◎伊閑、◎古田	
垂水市	柊原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、平佐西 副田、藺牟田、上手、 手打 大妻、城上、亀山 黒木、入来、市比野、	入来、祁答院 里 海星、水引、※東郷学園
日置市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉	上市来、土橋、鹿児島育英館 伊集院
曾於市	笠木、大隅南、高岡、諏訪、岩北 櫛、深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧島市	国分、横川、安良、佐々木 中津川、霧島、富隈、小浜、福山 中福良、持松、向花、万膳、大田 宮内、国分南、塚脇	国分、牧園 隼人、溝辺 ◎牧之原

市町村	小学校	中学校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 川上、神村学園初等部	串木野、串木野西、生冠、市来 神村学園中等部
南さつま市	加世田、阿多、笠沙、田布施 大浦、内山田、長屋、川畑	加世田、金峰
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、宇都
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田、崎原	小宿、崎原
南九州市	顥娃、別府、松ヶ浦、大丸 中福良、霜出、九玉、川辺、勝目	川辺
伊佐市	大口東、羽月、曾木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
姶良市	三船、北山、加治木、帖佐 漆、西浦、蒲生	山田
三島村		※三島、※大里、※竹島、※片泊
十島村	悪石島、平島 諏訪瀬島、宝島	悪石島、平島 諏訪瀬島、宝島
さつま町	流水、鶴田、永野、柏原	宮之城
長島町	川床、城川内、獅子島	川床、獅子島、長島、鷹巣
湧水町		吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	神川、大原	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	波野、内之浦、国見	
中種子町	星原	
南種子町	花峰、荃南、大川、平山、長谷	
屋久島町	金岳、八幡、神山	金岳、安房
大和村	大棚、今里	大和
宇検村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	薩川、諸鈍、伊子茂 与路、阿木名、池池	諸鈍、伊子茂 阿木名、与路、◎池地
龍郷町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、手々、 山、尾母、亀徳	井之川、亀津、東天城、手々、山、尾母
天城町	兼久、西阿木名	西阿木名、北
伊仙町	喜念、◎糸木名	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	下平川、知名、上城	田皆、知名
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	283校	116校

◎は新規加盟（Ｒ３） ※義務教育学校

ウ 高等学校・特別支援学校

令和4年3月31日現在

市町村	高等学校・特別支援学校
鹿児島市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島、鹿児島情報、鹿児島女子、 甲南、樟南、武岡台
鹿屋市	鹿屋養護学校、◎鹿屋
枕崎市	鹿児島水産
出水市	出水中央
指宿市	指宿、指宿養護学校
日置市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧島市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南さつま市	鳳凰、加世田常潤、南薩養護学校
志布志市	尚志館
南九州市	薩南工業
さつま町	薩摩中央
南大隅町	南大隅
中種子町	中種子養護学校
与論町	与論
計	28校

◎は新規加盟（R3） 高校24校、特別支援学校4校

6 国 際 活 動

世界には、現在192の国々に赤十字社や赤新月社等があり、日本赤十字社は、その一員としてジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟及び各国の赤十字社や赤新月社と連携を取りあつて、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する緊急・復興支援から長期にわたる人道支援ニーズへの対応を行っている。

(1) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集

12月1日から25日まで、日本放送協会(NHK)及び社会福祉法人NHK厚生文化事業団との共催により「第39回NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

例年、県内6会場で実施していた街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。



(参考) 令和元年 天文館での街頭募金の様子



(参考) 令和元年 NHK鹿児島児童合唱団によるコンサート

(2) 海外救援金の取扱い状況

令和4年3月31日現在

救援金の名称(受付期間)	累 計	
	件 数	金 額 (円)
中東人道危機救援金 (平成27年4月1日～令和5年3月31日)	5	25,502
バングラデシュ南部避難民救援金 (平成29年9月22日～令和5年3月31日)	1	5,715
2021年ハイチ地震救援金 (令和3年8月18日～令和3年11月30日)	1	3,000
アフガニスタン人道危機救援金 (令和3年9月22日～令和5年3月31日)	1	50,000
トンガ大洋州噴火津波救援金 (令和4年1月26日～令和4年3月31日)	5	186,866
ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～令和4年9月30日)	27	2,937,604
合 計	40	3,208,687

(3) その他

ア 外国からの引揚者に対する援護

中国からの本県永住帰国者に対し長年の苦労に報いるため、援護金及び援護品を支給しているが、令和３年度の該当は無かった。

イ 安否調査

赤十字では、戦争その他の事故等により海外で消息を絶った人の動静を調査しているが、令和３年度の取り扱いは無かった。

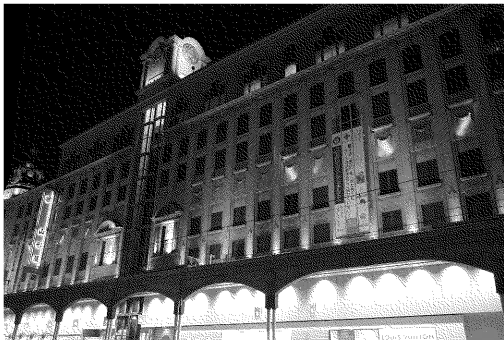
7 広 報 活 動

赤十字に対する県民の理解と協力を促進するため、5月の会員増強運動月間を中心に、イベントの活用、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、各地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材の貸出しを行い、赤十字思想の普及に役立ててもらった。

(1) 5月の会員増強運動月間広報

ア 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2021」の実施

株式会社山形屋にご協力をいただき、5月1日から5月31日までの期間、建物を赤十字の赤色にライトアップし、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進に努めた。また、同施設に赤十字活動資金協力呼びかけの懸垂幕を掲出した。



イ 天文館わくわくワークへの出展

5月の大型連休中、鹿児島市の天文館アーケードにおいて開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントが中止となった。



(参考) 令和元年5月3日、4日の天文館わくわくワークの様子

ウ 啓発活動

例年5月初旬、天文館エリアにて、リーフレット等を配布し啓発活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

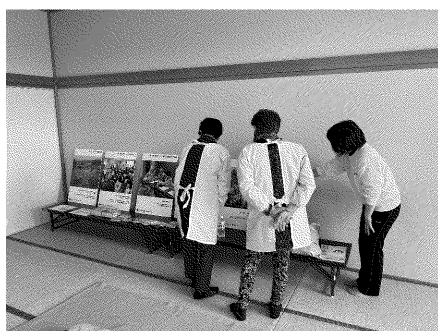


(参考) 令和元年5月2日の啓発活動の様子

(2) 各種イベント等の活用による広報

ア 社会福祉大会での広報

例年、各市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」において、非常食炊き出し、事業紹介パネル等の展示を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により多くの地域で中止となった。



第10回あいら福祉まつり（始良市）

イ 石橋フェスティバルへの参加

2月6日、石橋記念公園・祇園之洲公園（鹿児島市）において開催された、標記イベントに赤十字ブースを出展し、肝付町分区とともに災害パネルの展示を行い、赤十字事業への理解促進に努めた。



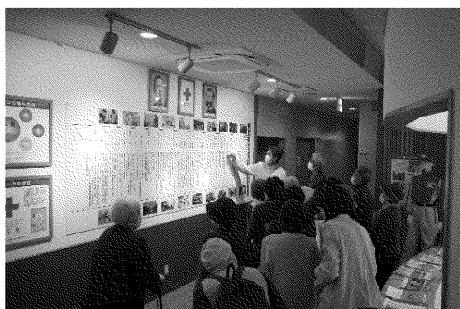
ウ 鹿児島駅周辺整備完成記念イベントへの参加

3月27日、鹿児島市上町ふれあい広場（かんまちあ）において開催された、標記イベントに赤十字ブースを出展し、鹿児島市地区とともに災害パネルの紹介やキッズ救護服体験などを行い、赤十字事業への理解促進に努めた。



（３）見学誘致・出前講座による広報

地域住民の団体等の研修視察場所として県支部の災害救援物資備蓄倉庫等を見学いただく誘致活動や出前講座により、日赤の事業内容及び赤十字会費・寄付の使途について理解促進に努めた。



（４）刊行物による広報

◆支部発行◆

機関紙「赤十字かごしま」	（年２回）	６５，０００部
事業年報	（年１回）	６００部
事業計画	（年１回）	２００部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	（年１回）	３１０，９３６部

◆本社発行◆

赤十字新聞	（月 刊）	２１，２００部
パンフレット	（年１回）	８，０００部
ポスター	（年１回）	２，１５０部

(5) インターネットによる広報

県支部WEBサイトや令和3年11月に開設したFacebook、Instagramを活用して、赤十字事業等について広く県民各層へ情報を発信した。

- 当県支部WEBサイトURL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>
- 当県支部公式Instagram ID : @nisseki_kagoshima
- 当県支部公式Facebook ID : @jrc.kagoshima

(6) SDGsへの取組み

ア かごしまSDGs推進パートナーへの登録

鹿児島市が募集している、「かごしまSDGs推進パートナー」に登録した。

※本制度は、鹿児島市が「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、SDGsの推進に取り組む企業・団体等を募集するもの。

イ 「かごしまSDGsパートナーシップ推進会議」への参加

鹿児島市が募集している、「かごしまSDGs推進パートナー」に登録した企業・法人を対象とした「かごしまSDGsパートナーシップ推進会議」に参加した。

8 赤 十 字 大 会

(1) 全国赤十字大会

5月20日（木）、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、東京明治神宮会館で開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(2) 九州八県赤十字大会

11月11日（木）日本赤十字社名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下のご臨席のもと、大分県立総合文化センター「iichikoグランシアタ」（大分市）において開催され、本県支部からは23人が出席した。

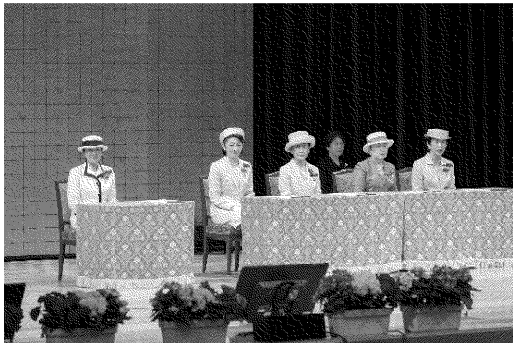
・本県の受章（彰）者

金色有功章 9件、銀色有功章 26件、日本赤十字社社長感謝状 13件

(3) 鹿児島県赤十字有功会総会

有功章等受章(彰)者(社)で組織されている鹿児島県赤十字有功会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により文書審議にて開催された。

- ・総 会 令和2年度事業報告、同収支決算説明並びに令和3年度事業計画、同収支予算および役員選出案が提案され、原案どおり承認された。



（参考）令和元年全国赤十字大会



（参考）令和元年度有功会総会における
会長挨拶（赤塚前会長）

9 会 員 増 強 運 動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からの会費（会費や寄付金）によって支えられており、その増強及び遺贈・相続財産による寄付の普及啓発に努めた。さらに赤十字サポーター（継続的な日赤活動資金の納入に加え、日赤の活動に積極的に協力いただける企業・団体）の募集活動を行った。

また、人道・博愛の赤十字思想の普及と会員の増強を図るため、5月を会員増強運動月間として、県下一斉に展開した。

※継続的な赤十字事業の支援団体「赤十字サポーター」として現在9社を認定し、平成30年度に創設した「災害救護赤十字サポーター」として33社を認定した。

（１）令和3年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移

区分 年度	目 標 額 (千円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)	
平成 29 年度	一 般 会 費	233, 000	238, 171, 445	102. 2
	法 人 会 費	32, 000	19, 032, 150	59. 5
	計	265, 000	257, 203, 595	97. 1
平成 30 年度	一 般 会 費	233, 000	196, 675, 659	84. 4
	法 人 会 費	32, 000	17, 608, 507	55. 0
	計	265, 000	214, 284, 166	80. 9
令和元年度	一 般 会 費	228, 000	186, 508, 131	81. 8
	法 人 会 費	32, 000	18, 445, 979	57. 6
	計	260, 000	204, 954, 110	78. 8
令和 2 年度	一 般 会 費	228, 000	214, 292, 982	94. 0
	法 人 会 費	32, 000	31, 444, 099	98. 3
	計	260, 000	245, 737, 081	94. 5
令和 3 年度	一 般 会 費	218, 000	212, 046, 444	97. 3
	法 人 会 費	32, 000	29, 706, 915	92. 8
	計	250, 000	241, 753, 359	96. 7

(2) 令和3年度地区・分区分別社資納入状況一覧表(対社資目標額比較)

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
鹿 児 島 市	90,066,000	44,966,583	49.9%
鹿児島地域	83,853,000	39,813,523	47.5%
吉田地域	1,409,500	1,265,650	89.8%
桜島地域	453,500	593,000	130.8%
松元地域	1,979,500	952,610	48.1%
郡山地域	924,000	818,200	88.5%
喜入地域	1,446,500	1,523,600	105.3%
鹿 屋 市	14,612,000	14,140,943	96.8%
鹿屋地域	11,621,500	11,412,942	98.2%
輝北支所	457,000	539,000	117.9%
串良支所	1,679,500	1,519,501	90.5%
吾平支所	854,000	669,500	78.4%
枕 崎 市	3,041,500	3,095,532	101.8%
阿 久 根 市	2,813,500	3,114,302	110.7%
出 水 市	7,236,000	7,124,254	98.5%
出水地域	5,043,000	4,040,752	80.1%
野田支所	533,000	982,000	184.2%
高尾野支所	1,660,000	2,101,502	126.6%
指 宿 市	5,687,500	6,788,056	119.4%
指宿地域	3,562,500	4,029,700	113.1%
山川支所	1,422,500	1,795,656	126.2%
開聞支所	702,500	962,700	137.0%
西 之 表 市	2,276,000	1,781,018	78.3%
垂 水 市	2,109,500	2,780,300	131.8%
薩 摩 川 内 市	13,086,500	13,816,801	105.6%
川内分区分	9,713,000	9,693,900	99.8%
樋脇分区分	894,000	945,001	105.7%
入来分区分	656,500	801,500	122.1%
東郷分区分	657,000	905,000	137.7%
祁答院分区分	452,500	611,500	135.1%
上飢分区分	351,500	514,400	146.3%
下飢分区分	362,000	345,500	95.4%
日 置 市	6,239,000	7,721,712	123.8%
東市来分区分	1,454,000	1,961,301	134.9%
伊集院分区分	3,078,500	3,599,411	116.9%
日吉分区分	625,500	864,000	138.1%
吹上分区分	1,081,000	1,297,000	120.0%
曾 於 市	4,755,500	5,411,503	113.8%
大隅分区分	1,371,000	1,490,500	108.7%
財部分区分	1,101,500	1,498,501	136.0%
末吉分区分	2,283,000	2,422,502	106.1%
霧 島 市	17,872,500	14,697,202	82.2%
国分地域	8,251,500	5,952,821	72.1%
隼人分室	5,419,500	3,542,802	65.4%
溝辺分室	1,121,500	1,351,871	120.5%
横川分室	590,500	767,648	130.0%
牧園分室	1,048,500	1,086,560	103.6%
霧島分室	686,000	1,098,500	160.1%
福山分室	755,000	897,000	118.8%
いちき串木野市	3,824,500	4,297,000	112.4%
南 さ つ ま 市	4,655,000	6,252,875	134.3%
加世田地域	2,862,500	3,593,704	125.5%
笠沙支所	341,500	533,600	156.3%
大浦支所	263,000	423,470	161.0%
坊津支所	401,500	558,500	139.1%
金峰支所	786,500	1,143,601	145.4%
志 布 志 市	4,365,000	4,034,670	92.4%
志布志地域	2,420,500	1,865,169	77.1%
松山支所	525,500	696,000	132.4%
有明支所	1,419,000	1,473,501	103.8%
奄 美 市	6,360,500	2,443,840	38.4%
名瀬地域	3,574,500	1,324,023	23.8%
笠利分区分	786,000	1,119,817	142.5%
南 九 州 市	4,769,500	7,996,900	167.7%
穎娃分区分	1,554,000	1,948,900	125.4%
知覧分区分	1,532,000	3,889,500	253.9%
川辺分区分	1,683,500	2,158,500	128.2%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
伊 佐 市	3,844,500	4,427,053	115.2%
大口分区分	2,741,000	3,248,652	118.5%
菱刈地域	1,103,500	1,178,401	106.8%

始 良 市	10,674,000	8,508,069	79.7%
始良地域	6,756,500	2,926,175	43.3%
加治木支所	3,068,500	4,534,852	147.8%
蒲生支所	849,000	1,047,042	123.3%
小 計	208,288,500	163,398,613	78.4%

三 島 村	60,500	81,560	134.8%
十 島 村	120,000	80,492	67.1%
小 計	180,500	162,052	89.8%

さ つ ま 町	2,978,000	3,717,003	124.8%
小 計	2,978,000	3,717,003	124.8%

長 島 町	1,331,500	1,781,002	133.8%
小 計	1,331,500	1,781,002	133.8%

湧 水 町	1,248,500	1,585,501	127.0%
小 計	1,248,500	1,585,501	127.0%

大 崎 町	1,876,500	1,707,501	91.0%
小 計	1,876,500	1,707,501	91.0%

東 串 良 町	866,000	1,070,277	123.6%
錦 江 町	992,000	1,400,000	141.1%
南 大 隅 町	1,007,500	1,362,600	135.2%
肝 付 町	2,089,000	6,768,736	324.0%
小 計	4,954,500	10,601,613	214.0%

中 種 子 町	1,133,000	1,248,500	110.2%
南 種 子 町	852,500	554,100	65.0%
屋 久 島 町	1,893,000	2,287,150	120.8%
小 計	3,878,500	4,089,750	105.4%

大 和 村	221,500	334,000	150.8%
宇 検 村	251,000	527,800	210.3%
瀬 戸 内 町	1,377,000	771,918	56.1%
龍 郷 町	829,000	765,525	92.3%
喜 界 町	985,000	1,259,100	127.8%
徳 之 島 町	1,505,500	2,061,540	136.9%
天 城 町	798,500	1,139,800	142.7%
伊 仙 町	847,500	737,350	87.0%
和 泊 町	920,500	1,036,100	112.6%
知 名 町	810,000	1,106,800	136.6%
与 論 町	718,000	791,000	110.2%
小 計	9,263,500	10,530,933	113.7%

市 地 区 計	208,288,500	163,398,613	78.4%
郡 地 区 計	25,711,500	34,175,355	132.9%
市 郡 地 区 計	234,000,000	197,573,968	84.4%

支部	44,178,491
地区DM	25,930,767
地区送納書	169,329,381
本社	2,314,720
合計	241,753,359

(3) 令和3年度地区・分区分別社資納入状況一覧表(対前年度比較)

地区・分区分	令和3年度(円)	令和2年度(円)	対前年(%)
鹿児島市	44,966,583	46,842,011	96.0%
鹿児島地域	39,813,523	41,790,902	95.3%
吉田地域	1,265,650	1,111,925	113.8%
桜島地域	593,000	620,600	95.6%
松元地域	952,610	996,384	95.6%
郡山地域	818,200	829,300	98.7%
喜入地域	1,523,600	1,492,900	102.1%
鹿屋市	14,140,943	9,512,647	148.7%
鹿屋地域	11,412,942	6,705,146	170.2%
輝北支所	539,000	549,500	98.1%
串良支所	1,519,501	1,563,501	97.2%
吾平支所	669,500	694,500	96.4%
枕崎市	3,095,532	3,142,800	98.5%
阿久根市	3,114,302	3,158,914	98.6%
出水市	7,124,254	7,497,254	95.0%
出水地域	4,040,752	4,269,752	94.6%
野田支所	982,000	1,105,500	88.8%
高尾野支所	2,101,502	2,122,002	99.0%
指宿市	6,788,056	6,681,878	101.6%
指宿地域	4,029,700	3,776,378	106.7%
山川支所	1,795,656	1,883,000	95.4%
開聞支所	962,700	1,022,500	94.2%
西之表市	1,781,018	1,786,694	99.7%
垂水市	2,780,300	2,634,200	105.5%
薩摩川内市	13,816,801	14,129,289	97.8%
川内分区分	9,693,900	9,889,879	98.0%
樋脇分区分	945,001	983,501	96.1%
入来分区分	801,500	813,500	98.5%
東郷分区分	905,000	920,131	98.4%
祁答院分区分	611,500	613,478	99.7%
上飩分区分	514,400	524,300	98.1%
下飩分区分	345,500	384,500	89.9%
日置市	7,721,712	7,778,402	99.3%
東市来分区分	1,961,301	1,943,990	100.9%
伊集院分区分	3,599,411	3,597,411	100.1%
日吉分区分	864,000	912,000	94.7%
吹上分区分	1,297,000	1,325,001	97.9%
曾於市	5,411,503	5,529,503	97.9%
大隅分区分	1,490,500	1,564,500	95.3%
財部分区分	1,498,501	1,503,001	99.7%
末吉分区分	2,422,502	2,462,002	98.4%
霧島市	14,697,202	15,092,904	97.4%
国分地域	5,952,821	6,271,474	94.9%
隼人分室	3,542,802	3,627,930	97.7%
溝辺分室	1,351,871	1,348,500	100.2%
横川分室	767,648	719,500	106.7%
牧園分室	1,086,560	1,142,000	95.1%
霧島分室	1,098,500	1,051,000	104.5%
福山分室	897,000	932,500	96.2%
いちき串木野市	4,297,000	4,395,200	97.8%
南さつま市	6,252,875	6,497,515	96.2%
加世田地域	3,593,704	3,721,304	96.6%
笠沙支所	533,600	575,710	92.7%
大浦支所	423,470	454,500	93.2%
坊津支所	558,500	584,000	95.6%
金峰支所	1,143,601	1,162,001	98.4%
志布志市	4,034,670	4,204,903	96.0%
志布志地域	1,865,169	2,122,501	87.9%
松山支所	696,000	678,500	102.6%
有明支所	1,473,501	1,403,902	105.0%
奄美市	2,443,840	2,753,917	88.7%
名瀬地域	1,324,023	1,944,717	68.1%
笠利分区分	1,119,817	809,200	138.4%
南九州市	7,996,900	9,197,600	86.9%
額娃分区分	1,948,900	2,019,800	96.5%
知覧分区分	3,889,500	4,954,300	78.5%
川辺分区分	2,158,500	2,223,500	97.1%

地区・分区分	令和3年度(円)	令和2年度(円)	対前年(%)
伊佐市	4,427,053	4,539,303	97.5%
大口分区分	3,248,652	3,297,102	98.5%
菱刈地域	1,178,401	1,242,201	94.9%

姶良市	8,508,069	6,697,541	127.0%
姶良地域	2,926,175	3,091,402	94.7%
加治木支所	4,534,852	2,578,639	175.9%
蒲生支所	1,047,042	1,027,500	101.9%
小計	163,398,613	162,072,475	100.8%

三島村	81,560	63,500	128.4%
十島村	80,492	115,822	69.5%
小計	162,052	179,322	90.4%

さつま町	3,717,003	3,818,003	97.4%
小計	3,717,003	3,818,003	97.4%

長島町	1,781,002	1,781,502	100.0%
小計	1,781,002	1,781,502	100.0%

湧水町	1,585,501	1,622,000	97.7%
小計	1,585,501	1,622,000	97.7%

大崎町	1,707,501	1,802,500	94.7%
小計	1,707,501	1,802,500	94.7%

東串良町	1,070,277	1,048,405	102.1%
錦江町	1,400,000	1,439,500	97.3%
南大隅町	1,362,600	1,411,100	96.6%
肝付町	6,768,736	3,758,452	180.1%
小計	10,601,613	7,657,457	138.4%

中種子町	1,248,500	1,320,000	94.6%
南種子町	554,100	565,600	98.0%
屋久島町	2,287,150	2,237,845	102.2%
小計	4,089,750	4,123,445	99.2%

大和村	334,000	249,500	133.9%
宇檢村	527,800	442,200	119.4%
瀬戸内町	771,918	912,865	84.6%
龍郷町	765,525	827,725	92.5%
喜界町	1,259,100	1,206,000	104.4%
徳之島町	2,061,540	2,174,568	94.8%
天城町	1,139,800	1,107,700	102.9%
伊仙町	737,350	776,800	94.9%
和泊町	1,036,100	1,069,100	96.9%
知名町	1,106,800	1,069,000	103.5%
与論町	791,000	27,600	2865.9%
小計	10,530,933	9,863,058	106.8%

市地区計	163,398,613	162,072,475	100.8%
郡地区計	34,175,355	30,847,287	110.8%
市郡地区計	197,573,968	192,919,762	102.4%

支部	44,178,491	52,817,319	83.6%
地区DM	25,930,767	17,174,593	151.0%
地区送納書	169,329,381	173,467,609	97.6%
本社	2,314,720	2,277,560	101.6%
合計	241,753,359	245,737,081	98.4%

(4) 令和3年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳					令和3年度 件数	令和2年度 件数	増減	
	個人								
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A	法人 B	A+B=C	D C-D	
鹿 児 島 市	46,343	309	179	161	46,992	140	47,132	51,835	-4,703
鹿児島地域	39,911	288	173	155	40,527	140	40,667	45,744	-5,077
吉田地域	1,031	11	1	2	1,045	0	1,045	957	88
桜島地域	1,034	0	0	0	1,034	0	1,034	1,094	-60
松元地域	1,057	0	0	0	1,057	0	1,057	1,234	-177
郡山地域	1,207	2	2	0	1,211	0	1,211	1,250	-39
喜入地域	2,103	8	3	4	2,118	0	2,118	1,556	562
鹿 屋 市	14,945	158	40	18	15,161	61	15,222	15,749	-527
鹿屋地域	9,619	158	40	16	9,833	56	9,889	10,233	-344
輝北支所	1,058	0	0	0	1,058	1	1,059	1,090	-31
串良支所	2,989	0	0	1	2,990	2	2,992	3,090	-98
吾平支所	1,279	0	0	1	1,280	2	1,282	1,332	-50
枕 崎 市	5,651	35	6	2	5,694	24	5,718	5,858	-140
阿 久 根 市	5,896	1	2	5	5,904	10	5,914	6,032	-118
出 水 市	11,194	295	18	15	11,522	44	11,566	11,879	-313
出水地域	6,677	184	13	9	6,883	29	6,912	7,178	-266
野田支所	1,250	103	4	2	1,359	6	1,365	1,385	-20
高尾野支所	3,267	8	1	4	3,280	9	3,289	3,316	-27
指 宿 市	10,599	186	33	14	10,832	19	10,851	11,033	-182
指宿地域	5,830	66	29	10	5,935	19	5,954	6,087	-133
山川支所	2,848	118	4	4	2,974	0	2,974	2,987	-13
開聞支所	1,921	2	0	0	1,923	0	1,923	1,959	-36
西 之 表 市	2,958	60	3	5	3,026	10	3,036	3,040	-4
垂 水 市	5,192	2	3	0	5,197	9	5,206	5,144	62
薩 摩 川 内 市	24,477	136	23	22	24,658	71	24,729	25,753	-1,024
川内分区分	16,825	1	14	15	16,855	66	16,921	17,763	-842
樋脇分区分	1,744	18	1	4	1,767	0	1,767	1,810	-43
入来分区分	1,493	8	5	1	1,507	3	1,510	1,559	-49
東郷分区分	1,736	24	0	1	1,761	1	1,762	1,770	-8
祁答院分区分	1,139	0	3	1	1,143	1	1,144	1,162	-18
上甕分区分	879	70	0	0	949	0	949	932	17
下甕分区分	661	15	0	0	676	0	676	757	-81
日 置 市	14,968	63	20	7	15,058	0	15,058	15,056	2
東市来分区分	3,872	0	1	2	3,875	0	3,875	3,807	68
伊集院分区分	6,810	57	16	5	6,888	0	6,888	6,815	73
日吉分区分	1,716	6	0	0	1,722	0	1,722	1,814	-92
吹上分区分	2,570	0	3	0	2,573	0	2,573	2,620	-47
曾 於 市	9,717	105	26	8	9,856	16	9,872	10,294	-422
大隅分区分	2,803	42	2	1	2,848	4	2,852	3,023	-171
財部分区分	2,611	3	9	2	2,625	8	2,633	2,733	-100
末吉分区分	4,303	60	15	5	4,383	4	4,387	4,538	-151
霧 島 市	24,547	174	48	18	24,787	62	24,849	25,304	-455
国分地域	9,990	85	15	8	10,098	27	10,125	10,314	-189
隼人分室	6,088	50	25	7	6,170	14	6,184	6,263	-79
溝辺分室	2,243	0	1	2	2,246	9	2,255	2,266	-11
横川分室	1,356	0	1	1	1,358	4	1,362	1,409	-47
牧園分室	1,951	35	2	0	1,988	5	1,993	2,042	-49
霧島分室	1,159	4	2	0	1,165	2	1,167	1,211	-44
福山分室	1,760	0	2	0	1,762	1	1,763	1,799	-36
いちき串木野市	7,516	422	4	1	7,943	1	7,944	8,011	-67
南 さ つ ま 市	8,515	1,570	18	4	10,107	40	10,147	10,481	-334
加世田地域	3,871	1,292	2	4	5,169	36	5,205	5,472	-267
笠沙支所	679	170	12	0	861	0	861	875	-14
大浦支所	708	60	4	0	772	0	772	785	-13
坊津支所	1,039	39	0	0	1,078	0	1,078	1,122	-44
金峰支所	2,218	9	0	0	2,227	4	2,231	2,227	4
志 布 志 市	6,659	66	11	6	6,742	53	6,795	6,848	-53
志布志地域	3,176	31	4	4	3,215	17	3,232	3,396	-164
松山支所	1,164	24	3	0	1,191	13	1,204	1,203	1
有明支所	2,319	11	4	2	2,336	23	2,359	2,249	110
奄 美 市	2,777	17	39	4	2,837	58	2,895	2,306	589
名瀬地域	767	17	38	3	825	55	880	820	60
笠利分区分	2,010	0	1	1	2,012	3	2,015	1,486	529

(4) 令和3年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和3年度 件数	令和2年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
						B	A+B=C	D	C-D
南九州市	8,411	972	8	6	9,397	3	9,400	9,853	-453
願娃分区	695	966	7	0	1,668	0	1,668	1,735	-67
知覧分区	3,431	0	1	5	3,437	3	3,440	3,577	-137
川辺分区	4,285	6	0	1	4,292	0	4,292	4,541	-249
伊佐市	7,365	197	6	3	7,571	19	7,590	7,867	-277
大口分区	5,238	113	3	3	5,357	19	5,376	5,547	-171
菱刈地域	2,127	84	3	0	2,214	0	2,214	2,320	-106
姶良市	8,882	464	34	6	9,386	28	9,414	9,133	281
姶良地域	3,203	347	21	3	3,574	14	3,588	2,796	792
加治木支所	3,703	117	12	3	3,835	14	3,849	4,356	-507
蒲生支所	1,976	0	1	0	1,977	0	1,977	1,981	-4
小計	226,612	5,232	521	305	232,670	668	233,338	241,472	-8,134

三島村	37	48	4	0	89	1	90	77	13
十島村	22	40	5	1	68	2	70	94	-24
小計	59	88	9	1	157	3	160	171	-11

さつま町	6,623	118	8	6	6,755	11	6,766	6,901	-135
小計	6,623	118	8	6	6,755	11	6,766	6,901	-135

長島町	2,902	0	0	0	2,902	7	2,909	2,932	-23
小計	2,902	0	0	0	2,902	7	2,909	2,932	-23

湧水町	3,171	0	0	0	3,171	0	3,171	3,225	-54
小計	3,171	0	0	0	3,171	0	3,171	3,225	-54

大崎町	2,901	257	0	0	3,158	0	3,158	3,298	-140
小計	2,901	257	0	0	3,158	0	3,158	3,298	-140

東串良町	1,806	1	0	0	1,807	16	1,823	1,753	70
錦江町	2,800	0	0	0	2,800	0	2,800	2,860	-60
南大隅町	2,285	0	0	0	2,285	0	2,285	2,821	-536
肝付町	4,850	54	2	1	4,907	17	4,924	4,945	-21
小計	11,741	55	2	1	11,799	33	11,832	12,379	-547

中種子町	66	0	0	0	66	4	70	2,460	-2,390
南種子町	1,040	9	1	1	1,051	2	1,053	960	93
屋久島町	4,055	8	8	0	4,071	2	4,073	4,129	-56
小計	5,161	17	9	1	5,188	8	5,196	7,549	-2,353

大和村	568	0	0	0	568	1	569	459	110
宇検村	646	40	1	1	688	2	690	710	-20
瀬戸内町	1,318	20	0	1	1,339	36	1,375	1,614	-239
龍郷町	1,509	1	0	0	1,510	1	1,511	1,584	-73
喜界町	2,255	2	0	0	2,257	13	2,270	2,215	55
徳之島町	2,260	28	6	5	2,299	52	2,351	2,403	-52
天城町	1,522	2	1	0	1,525	62	1,587	1,624	-37
伊仙町	1,160	31	1	1	1,193	0	1,193	1,264	-71
和泊町	1,817	41	4	0	1,862	1	1,863	1,922	-59
知名町	2,083	15	0	0	2,098	1	2,099	2,022	77
与論町	1,566	7	0	0	1,573	0	1,573	0	1,573
小計	16,704	187	13	8	16,912	169	17,081	15,817	1,264

市地区計	226,612	5,232	521	305	232,670	668	233,338	241,472	-8,134
郡地区計	49,262	722	41	17	50,042	231	50,273	52,272	-1,999
地区分区計	275,874	5,954	562	322	282,712	899	283,611	293,744	-10,133

支部	49	66	285	98	498	598	1,096	1,108	-12
----	----	----	-----	----	-----	-----	-------	-------	-----

合計	275,923	6,020	847	420	283,210	1,497	284,707	294,852	-10,145
----	---------	-------	-----	-----	---------	-------	---------	---------	---------

（５）令和３年度赤十字会員増強運動功労表彰

１２月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区・支所等を支部長名で表彰する。

（１）当年度の会費等実績額が前年度実績の１０２％以上を達成した地区・分区・支所等

管 内	地 区・分 区 名	件 数
市 地 区	鹿児島市地区（喜入地域）、霧島市地区（霧島分室）、	6
	志布志市地区（松山支所・有明支所）、奄美市地区（笠利分区）、	
	姶良市地区（加治木支所）	
鹿児島地区	三島村分区	1
大隅地区	東串良町分区、肝付町分区	2
大島地区	宇検村分区、喜界町分区、与論町分区	3
合 計		12

（２）その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区・支所等

※１，０００円以上１０，０００円未満募集目標件数と法人会員目標件数をそれぞれ
１１０％以上達成し、さらに会費目標額を１２５％以上達成

管 内	地 区・分 区 名	件 数
市 地 区	出水市地区（野田支所）、薩摩川内市地区（上甕分区）、	5
	南さつま市地区（笠沙支所・大浦支所）、南九州市地区（顚娃分区）	
鹿児島地区	三島村分区	1
大島地区	宇検村分区	1
合 計		7（2）

件数欄の（ ）内は、再掲。

(6) 過去5カ年間の種別会員数の推移

種別		年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
				件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)
個人	500円以上 1,000円未満			315,368	△ 8,420	303,246	△ 12,122	296,482	△ 6,764	285,400	△ 11,082	275,923	△ 9,477
	1,000円以上			9,793	△ 933	9,078	△ 715	8,527	△ 551	7,913	△ 614	7,287	△ 626
	小計			325,161	△ 9,353	312,324	△ 12,837	305,009	△ 7,315	293,313	△ 11,696	283,210	△ 10,103
法人				1,333	118	1,346	13	1,367	△ 21	1,539	172	1,497	△ 42
合 計				326,494	△ 9,471	313,670	△ 12,824	306,376	△ 7,294	294,852	△ 11,524	284,707	△ 10,145

(7) 令和3年度一般社資金額別内訳一覧表

内訳 1件あたり金額		一般社資		個人住民税に関する 指定事業社資		合 計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	9	34,000,000	0	0	9	34,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	1	500,000	2	1,000,000
3	20万円以上 50万円未満	5	1,100,000	0	0	5	1,100,000
4	10万円以上 20万円未満	22	2,202,640	3	300,000	25	2,502,640
5	5万円以上 10万円未満	29	1,542,917	0	0	29	1,542,917
6	3万円以上 5万円未満	31	940,000	0	0	31	940,000
7	1万円以上 3万円未満	313	3,646,039	6	100,000	319	3,746,039
8	5千円以上 1万円未満	278	1,608,052	0	0	278	1,608,052
9	1千円以上 5千円未満	6,589	7,381,787	0	0	6,589	7,381,787
10	500円以上 1千円未満	275,923	138,092,590	0	0	275,923	138,092,590
11	500円未満	89,547	20,132,419	0	0	89,547	20,132,419
社資合計		372,747	211,146,444	10	900,000	372,757	212,046,444

(8) 令和3年度法人社資金額別内訳一覧表

内 訳 1件あたり金額		指定事業社資		その他法人社資		合 計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	2	11,000,000	2	11,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	1	500,000	2	1,000,000
3	20万円以上 50万円未満	2	500,000	3	997,000	5	1,497,000
4	10万円以上 20万円未満	8	800,000	25	2,540,734	33	3,340,734
5	5万円以上 10万円未満	0	0	42	2,171,061	42	2,171,061
6	2万円以上 5万円未満	0	0	83	2,121,878	83	2,121,878
7	1万円以上 2万円未満	0	0	582	5,897,817	582	5,897,817
8	5千円以上 1万円未満	0	0	372	1,919,193	372	1,919,193
9	1千円以上 5千円未満	0	0	326	736,400	326	736,400
10	500円以上 1千円未満	0	0	31	18,002	31	18,002
11	500円未満	0	0	19	4,830	19	4,830
合 計		11	1,800,000	1,486	27,906,915	1,497	29,706,915

(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰(章)者(社)名簿

※敬称略、順不同

◎日本赤十字社の表彰(章)

日本赤十字社感謝状 13件(不掲載希望者 1件含む)

- ・柳田 玉留(鹿児島市)
- ・藤岡 義道(指宿市)
- ・弓場 秋信(鹿児島市)
- ・鹿児島信用金庫(鹿児島市)
- ・鹿児島相互信用金庫(鹿児島市)
- ・大福コンサルタント 株式会社(鹿児島市)
- ・白玉醸造 株式会社(肝属郡錦江町)
- ・鹿児島トヨタ自動車 株式会社(鹿児島市)
- ・公益社団法人 いちちょうの樹(鹿児島市)
- ・有限会社 岩川興業(熊毛郡屋久島町)
- ・谷口昌孝税理士事務所(鹿児島市)
- ・公益財団法人 鹿児島まちづくり土地企画整理協会(鹿児島市)

金色有功章 9件

- ・新村 順一郎(肝属郡肝付町)
- ・島本 保子(鹿児島市)
- ・松田 典久(鹿児島市)
- ・児玉 壽々子(鹿児島市)
- ・古市 吉男(鹿児島市)
- ・株式会社 Misumi(鹿児島市)
- ・日本ガス 株式会社(鹿児島市)
- ・山下医科器械 株式会社(福岡市)
- ・株式会社 中央開発(大島郡徳之島町)

銀色有功章 26件(不掲載希望者 3件を含む)

- ・古田 龍一(伊佐市)
- ・下園 達也(薩摩川内市)
- ・伊佐 幸子(指宿市)
- ・上村 美智雄(鹿児島市)
- ・岡崎 義明(鹿屋市)
- ・松永 光子(大島郡徳之島町)
- ・永吉 進(霧島市)

- ・奄美市役所職員一同（奄美市）
- ・株式会社 久保建設（大島郡知名町）
- ・株式会社 モリ不動産鑑定事務所（鹿児島市）
- ・株式会社 七呂建設（鹿児島市）
- ・株式会社 浜田機動（奄美市）
- ・株式会社 奄美建設会館（奄美市）
- ・永田重機土木 株式会社（鹿児島市）
- ・有限会社 丸清商店（阿久根市）
- ・日置建設業協同組合（日置市）
- ・東和建設 株式会社（日置市）
- ・株式会社 中村建設（大島郡宇検村）
- ・株式会社 高山産業（姶良市）
- ・株式会社 寿産業（日置市）
- ・新生冷熱工業 株式会社（鹿児島市）
- ・有限会社 三葉工業（鹿児島市）
- ・株式会社 植村組（鹿児島市）

10 医 療 事 業

鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床120床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科、脳神経外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において、適切な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。



これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮、病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むことともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、鹿児島県の要請により令和2年7月7日より新型コロナウイルス感染患者の受入れを開始した。令和3年度は、135人の患者を受入れ、令和4年3月31日までに累計延189人の患者を受け入れた。現在も継続して受入れているところである。

さらに、宿泊療養所や医療機関に延90人の職員を派遣し、新型コロナウイルス感染症の治療及び感染拡大防止等のための活動に取り組んだ。

(1) 一 般 医 療

ア 診療科目 9診療科

〔内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科〕

イ 診療日 月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ 診療実績

① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和55年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に取り組み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成15年7月に脳神経外科、平成16年3月には麻酔科、平成25年1月には循環器内科を設置し、診療活動の拡充に努めている。

なお、令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響もあり入院患者延数は27,887人で、前年度より84人少ない0.2%減となった。

〔診療科別入院患者数〕

(単位：人)

区 分	令和 3 年度				令和 2 年度				比較 (R3-R2)			
種 別	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数	在院 延数	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数	
内 科	1,775	159	1,934	5.3	1,758	142	1,900	5.2	17	34	0.1	
リウマチ科	9,146	626	9,772	26.8	10,312	738	11,050	30.3	Δ 1,166	Δ 1,278	Δ 3.5	
整形外科	13,296	632	13,928	38.2	11,212	633	11,845	32.5	2,084	2,083	5.7	
脳神経外科	2,103	150	2,253	6.2	2,982	194	3,176	8.7	Δ 879	Δ 923	Δ 2.5	
合 計	26,320	1,567	27,887	76.4	26,264	1,707	27,971	76.6	56	Δ 84	Δ 0.2	
病床稼働率				63.7%	病床稼働率				63.9%	病床稼働率		Δ 0.2%

② 外来患者数

外来患者数は、35,992人で、前年度より806人多い2.3%増となった。

〔診療科別外来患者数〕

(単位：人)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度	比較 (R3-R2)	
			増減(人)	前年比(%)
内 科	5,361	5,430	Δ 69	98.7
リウマチ科	15,543	15,168	375	102.5
整形外科	10,281	9,894	387	103.9
呼吸器内科	435	355	80	122.5
脳神経外科	3,139	3,286	Δ 147	95.5
循環器内科	1,233	1,053	180	117.1
合 計	35,992	35,186	806	102.3

【参考】市町村別入院・外来患者数

(単位：人)

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	13,015	19,844	奄美市	132	20	南種子町	52	8
鹿屋市	284	446	南九州市	1,933	3,326	屋久島町	38	52
枕崎市	787	1,362	伊佐市	164	137	大和村	0	0
阿久根市	125	193	姶良市	899	397	宇検村	0	1
出水市	322	180	三島村	89	13	瀬戸内町	17	21
指宿市	2,674	4,528	十島村	76	71	龍郷町	44	2
西之表市	105	72	さつま町	158	173	喜界町	0	9
垂水市	72	201	長島町	149	52	徳之島町	0	7
薩摩川内市	444	629	湧水町	114	31	天城町	71	8
日置市	501	787	大崎町	19	61	伊仙町	14	8
曾於市	35	40	東串良町	21	14	和泊町	71	16
霧島市	1,142	315	錦江町	0	24	知名町	2	18
いちき串木野市	1,090	441	南大隅町	7	37	与論町	119	7
南さつま市	1,006	1,985	肝付町	54	84	県 外	174	247
志布志市	137	68	中種子町	164	57	計	26,320	35,992

※入院患者数は在院延数で記載

③実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5名	ポリクリ実習	鹿児島大学医学部5年・6年生
リハビリテーション科	7/19～8/13	2名	理学療法(4年)	鹿児島大学医学部保健学科
看護部	6/21～6/25	5名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校4年生
	10/4～10/21	5名	成人・老年看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校3年生
	11/22～12/10	3名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校4年生
	6/14～6/21(中止)	5名	統合実習	日本赤十字九州国際看護大学4年生
	6/21～7/9(中止)	5名	基礎実習	医療法人協会立看護専門学校2年生
	6/28～7/16(中止)	5名	成人看護学実習、統合実習	鳳凰高校専門課程2年生
	8/30～9/24(中止)	10名	統合実習	鹿児島医療技術専門学校4年生
	10/4～10/22(中止)	8名	成人・老年看護学実習	鳳凰高校専門課程2年生
地域医療連携室	実績なし			

(2) 医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としていることである。災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時には積極的な医療救護班の派遣に努めている。平成21年度鹿児島県DMAT指定病院に指定。

令和3年度の下記訓練・研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、そのほとんどが中止または縮小開催となった。

ア 医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
R2.7月から継続中 実績はR3年度分	延 212	鹿児島県庁	鹿児島県医療調整チーム活動	医師1名、調整員1名
R3.9月で終了	延 36	鹿児島市他	宿泊療養所活動、医療機関への支援	看護師
8月4日～6日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン(小学校)救護	中止
8月4日～6日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン(中学校)救護	中止
8月18日～20日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン(高等学校)救護	中止
8月21日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	中止
12月10日～17日	8	十島村悪石島	悪石島地震に係る住民の健康管理等	看護師1名
3月6日	1	鹿児島市	かごしまマラソン2022 救護	中止

イ 災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5月23日	1	姶良市	県総合防災訓練	中止
日程決まらず	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネーター研修(全3回)	中止
6月11日	1	日赤県支部	こころのケア研修会	中止
日程決まらず	3	本社	全国救護班研修会(全3回)	中止
9月9日	1	鹿児島市	鹿児島市多数傷病者事故対応訓練	中止
9月1日	1	鹿児島市	桜島大規模噴火を想定した市街地住民避難訓練	1名(支部職員1)
9月25日	1	日赤県支部	救護員基礎研修(1日目)	中止
10月6日	1	Web開催	第1回原子力災害医療アドバイザー会議	医師1名
10月7日	1	霧島市	航空機事故対応部分訓練	情報伝達訓練のみ(支部対応)
10月23日	1	日赤県支部	救護員基礎研修(2日間)・フォローアップ研修	中止
10月29日	1	鹿児島県	桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練)	2名(医師1、支部職員1)
11月20日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)	5名(医師1、看護師3、主事1)
11月29日～30日	2	宮崎県	九州ブロック支部合同災害救護訓練	支部職員3名
12月8日	1	Web開催	第2回原子力災害医療アドバイザー会議	放射線技師1名
2月11日	1	薩摩川内市他	原子力防災訓練	不参加
3月12日	1	福岡市	日本DMAT技能維持研修	1名(業務調整員1)
3月13日	1	Web開催	日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修	医師1名、主事1名
3月16日	1	Web開催	第3回原子力災害医療アドバイザー会議	放射線技師1名

(3) へき地医療

ア へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和56年4月1日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成14年7月1日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から4人の派遣医師を受入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成12年10月から、十島村の上四島は平成14年4月からそれぞれ医師1人の常駐化を図っているが、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ、鹿屋自衛隊ヘリ）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療(TV会議)システムを活用し、迅速な対応に努めている。

また、平成17年4月から特定診療科（眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科）巡回診療が県から移管され、大学病院、県医師会の協力を得て、県内専門医不在市町村に医師・看護師等の派遣及び巡回診療を行った。

へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、へき地診療所等に代診医師の派遣を行う予定としていたが、令和3年度は、要請がなかったことから実績なし。



離島からの患者ヘリ搬送



遠隔医療(TV会議)システムによる診察

①三島村・十島村医師等派遣

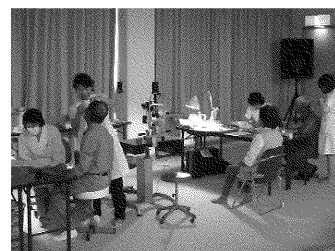
地 区	診療所数	医師派遣 延日数	看護師派遣 延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター 急患搬送回数
三島村	4 診療所	96.5	0.0	2,329	1 回
十島村	7 診療所	222.0	40.0	2,627	7 回
計	11 診療所	318.5	40.0	4,956	8 回

②特定診療科巡回診療

	実 施 市町村	地区	派遣延日数（日）				受診者延数（人）			
			医師	看護師	その他	計	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	計
1	屋久島町	口永良部島	6.0	4.0	4.0	14.0	2	3	4	9
2	薩摩川内市	甕島3島	2.0	0.0	2.0	4.0	0	20	0	20
3	三島村	全3島	9.0	6.0	6.0	21.0	27	30	19	76
4	十島村	全7島	30.0	21.0	15.0	66.0	56	61	57	174
計			47.0	31.0	27.0	105.0	85	114	80	279

イ へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
	実績なし	



特定診療科の巡回診療

(4) 保健衛生事業

ア 保健衛生事業への協力

①へき地における住民検診・赤十字講習会等

事業名	実施地区	実施人員(人)		対前年比 (%)
		令和2年度	令和3年度	
住民健(検)診及び 健康診断	三島村(4地区)	703	467	66.4%
	十島村(7地区)			
予 防 接 種	三島村(4地区)	567	514	90.7%
	十島村(7地区)			
赤十字救急法講習会 及びAED講習	三島村(4地区)	53	93	175.5%
	十島村(7地区)			
特 定 健 康 診 査	三島村(4地区)	382	202	52.9%
	十島村(7地区)			
計		1,705	1,276	74.8%

②生活習慣病予防健診 (単位：人)

年度 種類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一 般 健 診	413	455	422	339	400
人間ドック	84	69	58	66	64
脳ドック	108	86	73	76	87
計	605	610	553	481	551

(5) 相談援助・地域連携

ア 相談援助事業

内容	件数	内容	件数
受診・受療に関すること	3,321 件	日常生活に関すること	206 件
経済的問題に関すること	17 件	就労・就学に関すること	3 件
制度活用に関すること	93 件	身元保証・権利擁護に関すること	0 件
入院療養生活に関すること	273 件	死後対応に関すること	6 件
退院支援	1,886 件	その他（IC 同席・合同カンファレンス等）	1,202 件
在宅療養・介護に関すること	787 件		件
医療者との関係に関すること	13 件		件
家族関係に関すること	48 件	対応患者数	4,890 件

イ 居宅介護支援事業〔ケアプラン作成〕

(単位：件，%)

		ケアプラン作成件数												
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	延件数
鹿児島市	令和 2 年度計	24	23	24	24	23	23	20	20	19	22	21	24	267
	令和 3 年度計	24	21	20	22	20	22	22	23	20	20	19	21	254
鹿児島市 以外	令和 2 年度計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	令和 3 年度計	2	2	2	2	2	2	3	1	1	1	1	1	20
計	令和 2 年度計	25	24	25	25	24	24	21	21	20	23	22	25	279
	令和 3 年度計	26	23	22	24	22	24	25	24	21	21	20	22	274
	対前年度比	104	95.8	88	96	91.7	100	119	114.3	105	91.3	90.9	88	98.2

11 血 液 事 業

2021 年（令和 3 年）度も、血液事業においては新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受け、献血協力への辞退の申し出に伴い移動採血の稼働は困難な状況が続いている。

血液事業は国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としている。同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。

また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っている。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、2012 年（平成 24 年）4 月より従来の各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から全国を 7 ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。これまで九州各県で行っていた献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行うこととなった。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となる。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては減少傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大している。鹿児島県では 2021 年（令和 3 年）度の目標献血者数 66,820 人に対して、64,587 人（対前年度比 99.3%）の方々に献血のご協力をいただいた。一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL 献血由来が 818 本、400mL 献血由来が 57,717 本、成分献血由来が 12,900 本の合計 71,435 本（対前年度比 97.0%）となった。

鹿児島県赤十字血液センターでは、従来行ってきた若年層を中心とした献血の普及・啓発や献血の社会的重要性の認知度向上に向けた広報活動に加えて、コロナ禍における必要血液量の確保対策として、事業環境の変化を踏まえた献血推進方策の確立や献血予約制の推進を行っている。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、新たな血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めることとしている。

(1) 採血・供給実績

ア 献血者数

(単位:人)

区 分	200mL	400mL	成 分	合 計
血液センター	46	5,507	9,486	15,039
献血ルーム	70	4,752	8,536	13,358
献血バス	63	36,127	0	36,190
合 計	179	46,386	18,022	64,587
構 成 比	0.3%	71.8%	27.9%	100.0%
対 前 年 度 比	65.6%	100.0%	98.1%	99.3%

イ センター供給本数

(単位:本)

区 分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合 計	200mL換算	対前年度比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	586	48,232		48,818	97,050	100.6%
血漿製剤	232	9,485	2,030	11,747	27,322	97.4%
血小板製剤			10,870	10,870	106,698	93.9%
合 計	818	57,717	12,900	71,435	231,070	97.0%
構 成 比	1.1%	80.8%	18.1%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及び川内出張所の3施設から供給された合計本数

(2) 献 血 推 進

献血の推進は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、国及び地方公共団体の責務とされ、国及び地方公共団体が、毎年献血推進計画を策定することとなっている。一方、血液センターは、採血事業者として献血受け入れの推進を行わなければならないとされている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、400mL献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに、県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎6月1日 「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」(Web開催)

血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血、輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。

◎7月1日 「愛の血液助け合い運動月間」

～31日

長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年7月1日から1か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。

当県では、7月3日(土)に献血推進街頭キャンペーンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

◎10月22日 「ライオンズクラブ献血推進セミナー」

献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。

セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎12月14日 「学生クリスマス献血キャンペーン2021」

～12月25日 全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内5か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志学館大学・イオンモール鹿児島・オプシアミスミ）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計185名の方々に献血のご協力をいただいた。



◎1月1日 「はたちの献血キャンペーン」

～2月28日 成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオCM、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む1月から2月の2カ月間全国的に展開している。

当県では、1月9日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

◎1月7日 「MBCラジオ献血ウィーク」

～1月16日 県民の方々に献血に対する理解を深めていただくため、1月7日（金）から16日（日）の10日間を「MBCラジオ献血キャンペーン」として設定し、キャンペーンを実施した。期間中、ラジオで献血に関する広報を行い、1,942名の方々にご協力いただいた。

◎3月19日 「μFM春休み献血キャンペーン」

～3月31日 献血者確保が特に難しい時期である年度末、μFMに血液センター職員や学生献血推進協議会メンバーが出演し、リスナーへ2,000名の献血目標を呼び掛けるキャンペーンを実施した。

(3) 献血受入・献血予約の推進

当県の固定施設である「献血プラザかもいけクロス」及び「献血ルーム天文館」においては、成分献血を中心とした献血者の確保と400mL献血の推進に努めた。

一方、献血バスにおいては、医療機関からの要請に合わせた献血者確保を行うため、採血調整検討会を毎月開催し、配車計画の調整を行った。また、安全な献血者を安定的に確保するために設置された複数回献血クラブ「ラブラッド」の会員募集を強化し、献血予約の推進を行った。

なお、九州ブロック内における各県の採血調整を行い効率的・安定確保を図るため、「九州ブロック需給計画検討部会」を開催している。

そのほか、イベントやキャンペーンを実施し、広く県民に献血思想の普及と血液事業への理解を求めるため、広報活動を実施した。

複数回献血クラブ(ラブラッド)登録者数 (人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
9,802	14,583	21,161

(4) 供給体制

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の再確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、确实且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し定時配送率80%以上の目標値を達成できた。

医療機関からの血液製剤の発注については、令和2年11月から新WEB発注システムの運用が開始され、医療機関のWEB発注システム登録の強化を実施した。令和3年度は医薬情報担当者と協力しWEB発注率70%以上の目標値を2月と3月で達成することができた。

(5) 医薬情報活動

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、販売後安全管理業務を迅速に行った。

(6) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力

第11回令和3年度鹿児島県合同輸血療法懇話会をオンラインで開催し、事務局として鹿児島県合同輸血療法委員会の世話人会や講師の先生方への働きかけや県内の医療機関へ開催の案内を発送するなど協力した。

(7) 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

(人)

登録者受付数（新規）	210
登録取消者数	219
累計登録者数	4,681
（前年度末累計登録者数）	4,690

(8) 献血功労者表彰

令和3年9月9日に当県にて開催が予定されていた「第57回献血運動推進全国大会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止されたが、献血功労者として次の団体が受賞された。

[厚生労働大臣表彰状]（2団体）

- ・一般社団法人 生命保険協会 鹿児島県協会
- ・ライオンズクラブ国際協会337-D地区 末吉ライオンズクラブ

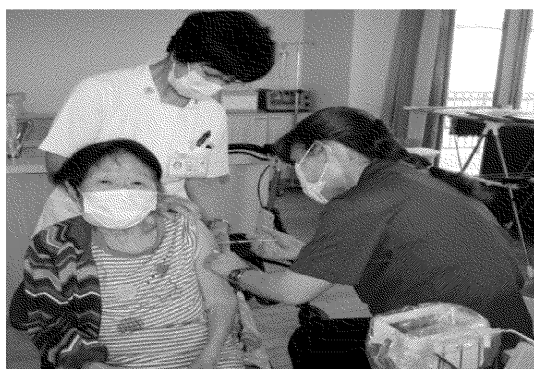
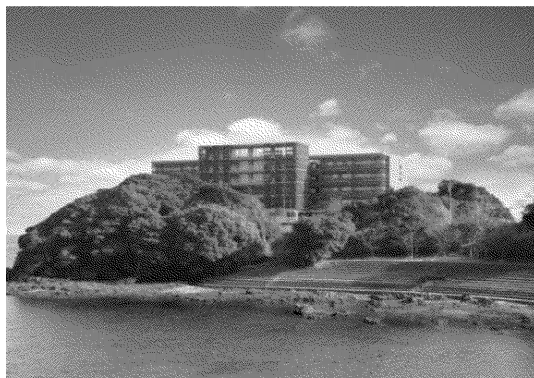
[厚生労働大臣感謝状]（6団体）

- ・シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 鹿児島工場
- ・社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院
- ・学校法人日章学園 奄美看護福祉専門学校
- ・株式会社エーコープ鹿児島 Aコープ宮之浦店
- ・南西糖業株式会社 徳之島事業本部 伊仙工場
- ・ライオンズクラブ国際協会337-D地区 鹿児島ライオンズクラブ

12 社 会 福 祉 事 業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（８０床）と短期入所生活介護事業（２床）の事業を行っている。

令和３年度においても、入居希望者の円滑な入居を進めるため、入居検討委員会を定期的に開催した他、介護保険における各種加算項目の算定要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。並行して新型コロナウイルス感染症対策として、希望する入居者や職員へのコロナワクチン接種（２回目、３回目）を令和３年６月、令和４年２月にそれぞれ実施した。



懸案となっている介護職員の処遇についても、「介護職員処遇改善加算」や「特定処遇改善加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなくサービスの提供を行うことができた。

なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は４１３，３３４千円となり、令和２年度の決算額４１３，０６１千円と比較すると２７３千円の増収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設あっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。

(1) 指定介護老人福祉施設事業

令和3年度の施設介護料収入は、各種加算の取得や平均介護度の向上により、前年度より3,063千円増の307,968千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	入居率 (%)
令和3年度	80	29,200	28,184	96.5
令和2年度	80	29,200	28,416	97.3

※総日数＝365日（1年間）×定員数

<入退居者の状況>

(単位：人)

区 分	入 居	退 所	死 亡
令和3年度	21	0	24
令和2年度	8	3	5

<入院の状況>

(延べ日数)

	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	1月 ～3月	計
令和3年度	289	184	142	253	868
令和2年度	116	92	293	275	776

<要介護度の状況>

(令和4年3月31日時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和3年度	0	0	7	33	40	80	4.41
令和2年度	0	1	9	27	43	80	4.33

（２） 短期入所生活介護事業

令和３年度の居宅介護料収入は、急な入院による利用日数の減少などの理由から前年度より３４６千円減の５，８１８千円となった。

<利用状況>

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	利用率（％）
令和３年度	２	７３０	６５７	９０．０
令和２年度	２	７３０	７０３	９６．３

※総日数＝３６５日（１年間）×定員数（２名）

<利用者数・要介護度の状況>

（令和４年３月３１時点）

要介護度	１	２	３	４	５	計	平均介護度
令和３年度	０	０	４	４	２	１０	３．６８
令和２年度	０	０	４	０	３	７	４．３８

(3) 入居者へ質の高いサービスの提供

- ・例年は集合形式で職場内研修を毎月開催している。本年度はコロナ禍のため、集合形式での研修を中止することが多かった。一方で、研修資料の回覧を行い職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図った。
- ・職場内研修を充実させるため「感染症等発生予防研修会」は外部から講師を招いて行った。
- ・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」、「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を文書による審議で行い、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。
- ・鹿児島赤十字病院と提携し、週1回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
- ・協力歯科医療機関の歯科医師から入居者の口腔ケアに係る技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。
- ・入居者の情緒の安定を図るため、各ユニットでの催し物（流しそうめん、たこやき作り等）やコスモス畑への園外散策を実施した。



(芋ほり)



(感染症等発生予防研修会)



(そうめん流し)



(たこやき作り)

（４） 入居者の安全対策・環境整備

- ・防災安全委員会を年４回開催した他、防火避難訓練や災害対応研修会を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。



（防火避難訓練）

（５） ボランティアの受入れと地域との連携

- ・例年、多数のボランティアを受入れ、入居者やその家族、地域住民との交流を図っているが、本年度はコロナ禍のため、ボランティアの受入れはできなかった。
- ・例年、「平川町づくり協議会」に参加し地域との連携や交流拡大に努めているが、本年度はコロナ禍のため参加を見送った。

（６） 実習生の受入れ

- ・例年、障がい者就労支援センター利用者の労働実習（清掃作業）を受入れているが、本年度はコロナ禍のため受入れは行わなかった。

（７） 地域貢献活動について

- ・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、生活習慣病予防の出前講座を行った。
- ・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受入れを行った。



（健康生活支援講習）



（台風避難者の受入れ）

(8) 広報活動について

- ・ホームページを随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。

(9) その他

- ・鹿児島県赤十字有功会からアルミ多機能車椅子1台、錦江園家族会からフルリクライニング&ティルティング車椅子1台を寄贈していただいた。

(参 考)

令和3年度における入居者の状況(令和4年3月31日現在)

(ア) 出身市町村別、年齢別の状況

(単位:人)

年 齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合 計
鹿 児 島 市	男	1	4	4	1	2	1	0	13	66
	女	1	1	3	12	17	14	5	53	
南 九 州 市	男	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	1	1	1	0	3	
指 宿 市	男	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	女	0	0	1	1	0	0	0	2	
南 さ つ ま 市	女	0	1	0	0	1	1	0	3	3
枕 崎 市	女	0	0	1	0	0	0	0	1	1
垂 水 市	女	0	0	0	0	1	0	0	1	1
十 島 村	男	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1	
計	男	1	5	5	2	2	1	0	16	80
	女	1	2	5	14	21	16	5	64	
平均年齢	89 歳 5 月	最高年齢		102 歳 4 月		最少年齢		68 歳 9 月		
男	81 歳 10 月	男		99 歳 6 月		男		68 歳 9 月		
女	91 歳 4 月	女		102 歳 4 月		女		69 歳 7 月		

(イ) 在園期間

(単位：人)

性別 \ 在園期間	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	11年未満	12年未満	13年未満	合計
男	6	2	2	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	16
女	13	3	9	16	7	4	0	2	5	0	2	1	2	64
計	19	5	11	18	10	4	0	2	6	0	2	1	2	80

(ウ) 日常生活能力

(単位：人)

区 分	歩 行				食 事			入 浴			着 衣			排 泄					
	自 力 歩 行	杖等の歩行補助器使用	車 い す 使 用	歩 行 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	昼 間		お む つ 使 用	夜 間		お む つ 使 用
														便所			便所		
														自 分 で 可 能	介 助	自 分 で 可 能	介 助	自 分 で 可 能	介 助
人 数	2	4	71	3	39	12	29	1	15	64	7	19	54	11	37	32	9	15	56

(エ) 疾病の状況

(単位：人)

病 名	人 員	病 名	人 員
脳 卒 中 後 遺 症	26	糖 尿 病	5
アルツハイマー型認知症	15	甲 状 腺 機 能 低 下 症	2
関 節 リ ウ マ チ	7	脊 柱 管 狭 窄 症	2
パ ー キ ン ソ ン 病	6	多 発 筋 痛 症	2
脳 血 管 性 認 知 症	6	精 神 遅 滞	1
心 疾 患	6		

(オ) 死亡者の死因

(単位：人)

疾病名 区分	老 衰	肺 炎	心筋梗塞	呼吸不全	心不全	腹膜炎	計
施 設	8	2	1	0	2	0	1 3
病 院	1	5	1	2	1	1	1 1
計	9	7	2	2	3	1	2 4

13 評議員会及び監査等

(1) 支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

- ・第1回支部評議員会〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大により文書審議で開催〕

第1号議案 令和2年度主要事業の実施状況報告及び令和2年度歳入歳出決算
について

第2号議案 監査委員の選出について

- ・第2回支部評議員会〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大により文書審議で開催〕

第1号議案 令和4年度事業計画（案）及び令和4年度歳入歳出予算（案）に
ついて

第2号議案 代議員の選出について

(2) 業務監査

令和3年度支部業務及び会計歳入歳出決算の支部監査委員による監査は、5月26日（水）に、監査委員3名により各施設の監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

○日本赤十字社鹿児島県支部一般会計

○鹿児島赤十字病院医療施設特別会計

○特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設特別会計

(3) 地区・分区関係各種会議等

会員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

ア 地区・分区支所等事務長及び担当者研修会

- ・4月23日（金）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ 社業振興幹事会

- ・10月15日（金）

場 所 鹿児島県赤十字会館

出 席 24人（幹事）

議 題 鹿児島県支部における社資募集の現状について
鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取り組みについて
赤十字大会等について

ウ 副地区長及び担当者会議（郡地区）

- ・1月21日（金）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用されていたため、書面開催にて開催した。

エ 市地区事務長会議

- ・ 2月25日（金）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用されていたため、書面開催にて開催した。

オ 郡地区説明会

- ・ 2月3日（木）～28日（月）の間に6地区4会場で予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用されていたため、書面開催にて開催した。

14 決 算 状 況

(1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島県支部

歳 入						歳 出					
科 目	予算現額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科 目	予算現額 (C)	決 算 額 (D)	不 用 額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
		円	円	%	%		円	円	円	%	%
支部収入	327,947,000	344,689,366	16,742,366	105.1	100.0	支部費	327,947,000	289,206,251	38,740,749	88.2	100.0
社資収入	238,931,000	241,753,359	2,822,359	101.2	70.1	災害救護事業費	24,818,000	21,409,542	3,408,458	86.3	7.6
委託金等収入	0	363,204	363,204	－	0.1	社会活動費	38,489,000	22,932,561	15,556,439	59.6	7.9
補助金及び交付金収入	2,186,000	1,737,175	△ 448,825	79.5	0.5	国際活動費	0	0	0	－	0.0
災害義援金預り金収入	0	0	0	－	0.0	指定事業地方振興費	900,000	900,000	0	100.0	0.3
繰入金収入	27,356,000	28,400,761	1,044,761	103.8	8.2	地区区分交付金支出	39,681,000	39,680,980	20	100.0	13.7
貸付金償還金収入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.5	社業振興費	33,564,000	22,685,687	10,878,313	67.6	7.8
資産収入	0	1,506,499	1,506,499	－	0.4	基盤整備交付金・補助金支出	1,312,000	1,311,742	258	100.0	0.5
雑収入	2,753,000	6,561,307	3,808,307	238.3	1.9	積立金支出	74,236,000	74,235,251	749	100.0	25.7
前年度繰越金	51,721,000	59,367,061	7,646,061	114.8	17.2	総務管理費	55,040,000	50,829,573	4,210,427	92.4	17.6
						資産取得及び資産管理費	20,588,000	19,362,912	1,225,088	94.0	6.7
						本社送納金	37,345,000	35,858,003	1,486,997	96.0	12.4
						予備費	1,974,000	0	1,974,000	0.0	0.0
合 計	327,947,000	344,689,366	16,742,366	105.1	99.9	合 計	327,947,000	289,206,251	38,740,749	88.2	100.2

歳入歳出差引額 55,483,115 円

(2) 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

鹿児島赤十字病院

〔収益の収入〕							〔収益の支出〕						
科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科	目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
			円	円	%	%			円	円	円	%	%
1	医業収益	3,145,186,000	3,277,507,705	132,321,705	104.2	81.0	1	医業費用	3,509,018,000	3,390,883,581	118,134,419	96.6	98.2
2	医業外収益	56,398,000	716,901,219	660,503,219	1,271.1	17.7	2	医業外費用	19,737,000	19,657,309	79,691	99.6	0.6
3	医療社会事業収益	60,221,000	52,582,519	△ 7,638,481	87.3	1.3	3	医療奉仕費用	60,221,000	39,882,103	20,338,897	66.2	1.2
5	特別利益	0	386,370	386,370	0.0	0.0	5	特別損失	300,000	271,620	28,380	90.5	0.0
							6	法人税等	1,476,000	1,376,317	99,683	93.2	0.0
							7	予備費	0	0	0	0.0	0.0
収益の収入 合計		3,261,805,000	4,047,377,813	785,572,813	124.1	100.0	収益の支出 合計		3,590,752,000	3,452,070,930	138,681,070	96.1	100.0

収益的收入支出差引額 595,306,883 円

〔資本的收入〕					〔資本的支出〕				
科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増 減(A)-(B)-(C)	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
1	固定負債	50,257,000	50,253,333		3,667	88,822,000	88,740,500		81,500
3	その他資本収入	259,868,000	245,537,091		14,330,909	221,303,000	207,049,924		14,253,076
資本的收入 合計		310,125,000	295,790,424	0	14,334,576	310,125,000	295,790,424	0	14,334,576

資本的收入支出差引額 0 円

(3) 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1 事業活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比 %	科		目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)-(D)	執行率 (D/C)	全体比 %
							1 施設費							
1 施設収入	1 介護保険事業収入	407,120,000	413,334,945	6,214,945	101.5	99.4				314,214,000	308,935,590	5,278,410	98.3	81.1
	10 経常経費寄付金収入	793,000	2,169,750	1,376,750	0.0	0.5				48,930,966	48,930,966	0	100.0	12.8
	11 受取利息配当金収入	0	3	3	0.0	0.0				21,447,000	21,401,798	45,202	99.8	5.6
	12 その他の収入	205,000	152,362	△ 52,638	74.3	0.0				826,000	507,847	318,153	61.5	0.1
										1,068,272	1,068,272	0	100.0	0.3
										100,000	1,270	98,730	1.3	0.0
事業活動収入計		408,118,000	415,657,060	7,539,060		100.0				386,586,238	380,845,743	5,740,495	98.5	100.0
事業活動資金収支差額										34,811,317 円				

2 施設整備等による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
14 施設整備等補助金収入		0	0	0	0	10 設備資金借入金元金補償支出		14,808,000	14,808,000	0	0
16 設備資金借入金収入		0	0	0	0	11 固定資産取得支出		4,396,939	4,396,939	0	0
						12 固定資産除却・廃棄支出		0	0	0	0
						13 ファイナンス・リース債務の返済支出		2,191,601	2,191,601	0	0
	施設整備等収入計	0	0	0	0		施設整備等支出計	21,396,540	21,396,540	0	0
施設整備等資金収支差額										△ 21,396,540 円	

3 その他の活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
24 他会計長期借入金収入		0	0	0	0	21 他会計長期借入金返済支出		5,000,000	5,000,000	0	0
28 他会計繰入金収入		0	791,570	0	791,570	26 その他活動による支出		9,129,000	9,102,456	0	26,544
31 その他の活動による収入		16,502,000	16,079,960	0	△ 422,040						
	財務活動収入計	16,502,000	16,871,530	0	369,530		財務活動支出計	14,129,000	14,102,456	0	26,544
その他の活動資金収支差額										2,769,074 円	

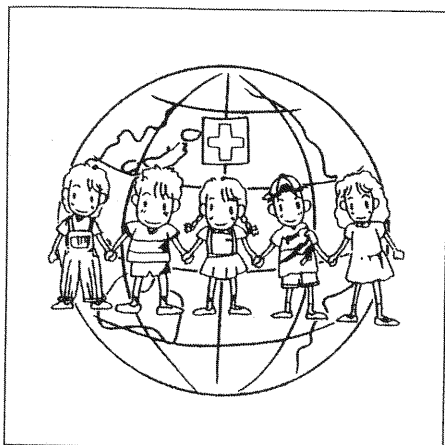
4 当期末支払資金残高

	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)
事業活動資金収支差額	21,531,762	34,811,317	13,279,555
施設整備等資金収支差額	△ 21,396,540	△ 21,396,540	0
その他の活動資金収支差額	2,373,000	2,769,074	396,074
予備費	3,000,000		
当期資金収支差額合計	△ 491,778	16,183,851	16,675,629
前期末支払資金残高	106,000,000	139,536,569	33,536,569
当期末支払資金残高	105,508,222	155,720,420	50,212,198

5 収入支出の合計

	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)
収入合計	530,620,000	572,065,159	0	41,445,159
支出合計	427,889,556	416,344,739	0	11,544,817

収入支出差引額 155,720,420 円

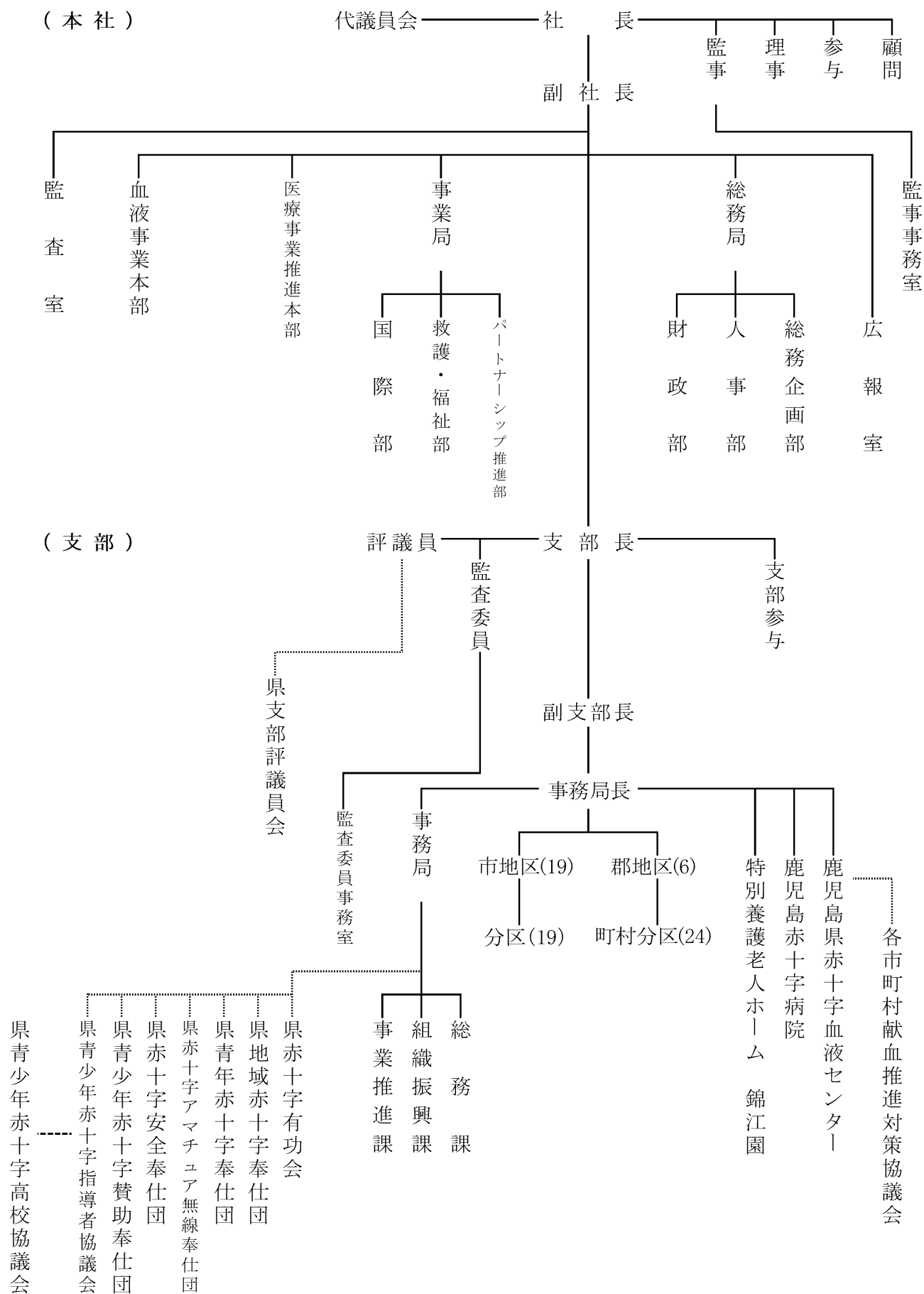


参考資料

本社及び支部組織図等

組 織 図

令和4年4月1日 現在



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主 要 役 員 名

令和4年4月1日現在

役 職 名	氏 名	現 職	任 期
支 部 長	塩 田 康 一	県 知 事	R2. 7.28 ～ R5. 7.27
副 支 部 長	須 藤 明 裕	県 副 知 事	R3. 4. 1 ～ R6. 3.31
〃	房 村 正 博	県くらし保健福祉部長	R4. 4. 1 ～ R7. 3.31
本 社 理 事	森 博 幸	前 鹿 児 島 市 長	R4. 4. 1 ～ R7. 3.31
支部選出本社代議員	森 博 幸	前 鹿 児 島 市 長	R4. 2.14 ～ R7. 2.13
〃	本 坊 輝 雄	南 さ つ ま 市 長	〃
〃	今 別 府 哲 矢	前 薩摩川内市社会福祉協議会 会長	〃
〃	川 畑 俊 彦	南生建設(株)名誉会長	〃
〃	伊 佐 幸 子	赤十字奉仕団県支部委員会委員長	〃
支 部 監 査 委 員	上 川 路 長 生	公認会計士・税理士	R3. 7. 1 ～ R6. 6.30
〃	大 柳 俊 一	県町村会事務局長	R3. 4. 1 ～ R6. 3.31
〃	西 井 上 誠	県社会福祉協議会常務理事兼事務局長	R3. 2. 9 ～ R6. 2. 8

支 部 参 与

氏 名	公 職 名	就任年月日
東 條 広 光	県 教 育 長	平成30年4月1日
伊 地 知 芳 浩	県くらし保健福祉部次長	令和3年4月1日
松 田 典 久	元支部事務局長	令和2年4月1日

日本赤十字社鹿児島県支部 評議員 名簿

■評 議 員

任期(令和4年2月14日～令和7年2月13日)

令和4年4月1日現在

地 区 名	氏 名	職 業	地 区 名 等		氏 名	職 業
鹿児島市地区	下 鶴 隆 央	鹿 児 島 市 長	霧 島 市 地区		中 重 真 一	霧 島 市 市 長
〃	上 之 園 彰	鹿 児 島 市 社会 事業協会 理事長	〃		福 永 洵	霧 島 市 社会福祉 協 議 会 会 長
〃	中 間 隆 志	日 赤鹿児島市地区 協賛委員会 会長	いちき串木野市地区		中 屋 謙 治	いちき串木野市長
〃	濱 田 賢 三	日 赤鹿児島市地区 協賛委員会副会長	南さつま市地区		本 坊 輝 雄	南さつま市長
〃	三原美智子	日 赤鹿児島市地区 協賛委員会副会長	志布志市地区		下 平 晴 行	志 布 志 市 長
〃	赤 星 貴 子	鹿児島中央赤十字 奉 仕 団 委 員 長	奄 美 市 地区		安 田 壮 平	奄 美 市 市 長
〃	丸田智恵子	鹿児島市谷山赤十字 奉仕団 委員長	南九州市地区		塗 木 弘 幸	南 九 州 市 市 長
鹿屋市地区	中 西 茂	鹿 屋 市 市 長	伊 佐 市 地区		橋 本 欣 也	伊 佐 市 市 長
〃	宮 下 昭 廣	鹿屋市社会福祉 協 議 会 会 長	始 良 市 地区		湯 元 敏 浩	始 良 市 市 長
枕崎市地区	前 田 祝 成	枕 崎 市 市 長	郡 地 区	鹿児島・ 始良・北薩	大 山 辰 夫	三 島 村 市 長
阿久根市地区	西 平 良 将	阿 久 根 市 市 長		大 隅	永 野 和 行	肝 付 町 市 長
出水市地区	椎 木 伸 一	出 水 市 市 長		熊 毛	荒 木 耕 治	屋 久 島 町 市 長
指宿市地区	打 越 明 司	指 宿 市 市 長		大 島	高 岡 秀 規	徳 之 島 町 市 長
西之表市地区	八 板 俊 輔	西 之 表 市 市 長	支 部 長 選 出		森 博 幸	前鹿児島市長
垂水市地区	尾 脇 雅 弥	垂 水 市 市 長	〃		池 田 琢 哉	県 医 師 会 会 長
薩摩川内市地区	田 中 良 二	薩 摩 川 内 市 市 長	〃		松 前 邦 昭	県赤十字有功会 会 長
〃	上 屋 和 夫	薩 摩 川 内 市 社会 福祉協議会 会長	〃		川 畑 俊 彦	南 生 建 設 (株) 名 誉 会 長
日置市地区	永 山 由 高	日 置 市 市 長	〃		佐 潟 隆 一	(株)南日本新聞社 社 長
曾 於 市 地区	五 位 塚 剛	曾 於 市 市 長	〃		中 野 寿 康	(株)南日本放送 社 長
			〃		伊 佐 幸 子	赤十字奉仕団県支 部委員会 委員長
			〃		中 村 浩 一	県 青 少 年 赤 十 字 指 導 者 協 議 会 会 長

評議員 計 40名

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締約国	196カ国	世界の赤十字社・赤新月社等	192社
1. 沿革 明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立 明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称 昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定	12. 国内災害救護 救護員数 7,419人(常備救護班要員を含む) 常備救護班 486班 4,505人 無線局 3,240局 救護車両 1,942台 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 108機 災害における救護員出動数(令和2年度) 871人 救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和2年度) 25,284個 令和2年度受付義援金額(令和3年3月31日現在) 64億5,741万8,440円		
2. 名誉総裁・名誉副総裁 名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃殿下 三笠宮妃殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃殿下	13. 医療事業 施設数 病院 91 診療所 5 介護老人保健施設 6 介護医療院 2 病床総数 35,219床(令和3年3月31日現在) 総患者数(令和2年度) 1日平均 入院 843万人 2.3万人 外来 1,460万人 6.0万人		
3. 会員(令和3年3月31日現在) 個人 18.2万人 法人 8.3万法人	14. 血液事業 施設数 地域血液センター 47 ブロック血液センター 7 附属施設 170 (分置施設 5) (献血ルーム117を含む) 献血者数(令和2年度) 供給本数(令和2年度) 成分献血 167万人 輸血用製剤 1,713万本 400mL 献血 325万人 車両台数(令和3年3月31日現在) 200mL 献血 12万人 献血運搬車 780台 計 504万人 移動採血車 287台		
4. 評議員 2,007人	15. 社会福祉事業 児童福祉施設数(定員) 乳児院 8(291) 医療型障害児入所施設 3(286) 保育所 3(368) 児童養護施設 1(40) 老人福祉施設数(定員) 特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む) 8(773) 障害者福祉施設数(定員) 複合型施設 1(定員) 障害者支援施設 1(50) 特別養護老人ホーム (110) 視聴覚障害者情報提供施設 2 介護老人保健施設 (100) 補装具製作施設 1 高齢者グループホーム (18) 障害者支援施設 (10)		
5. 代議員 223人	16. 職員数(施設数) 職員数 本社(1) 546人 支部(47) 711人 医療事業(117) 59,240人 血液事業(231) 5,897人 社会福祉事業(28) 1,162人 計 67,556人		
6. 役員(令和3年7月9日現在) 社長 大塚 義治(常勤) 副社長 富田 博樹(常勤) 十倉 雅和(非常勤) 理事 61人(常勤1人、非常勤60人) 監事 3人(常任1人、非常勤2人)	17. 会計(令和3年度当初予算) 一般会計 本社 108億4千万円 支部 198億5千万円 医療施設特別会計 1兆1,337億5千万円 血液事業特別会計 1,617億9千万円 社会福祉施設特別会計 156億5千万円		
7. 青少年赤十字(令和3年3月31日現在) 幼稚園・保育所 1,809校 155,671人 小学校 7,063校 1,966,662人 中学校 3,575校 985,654人 高等学校 1,856校 327,373人 特別支援学校 199校 21,119人 計 14,502校 3,456,479人 指導者 242,989人	18. 国際活動 国際救援・開発要員派遣(令和2年度) 5カ国 のべ6人 国際赤十字・赤新月社連盟出向 2人(スイス、マレーシア) 国際活動費(令和2年度) 19億円		
8. 赤十字ボランティア(令和3年3月31日現在) 地域赤十字奉仕団 2,120団 1,118,897人 青年赤十字奉仕団 152団 5,483人 特殊赤十字奉仕団 633団 30,943人 個人ボランティア等 - 13,388人 計 2,905団 1,168,711人			
9. 救急法等の講習 資格登録者数(令和3年3月31日現在) 指導者 救急員等 受講者数(令和2年度) 救急法基礎講習 10,927人 221,377人 7,992人 救急法 6,903人 126,821人 106,907人 水上安全法 1,503人 10,190人 7,357人 雪上安全法 209人 1,001人 94人 幼児安全法 2,312人 19,362人 23,451人 健康生活支援講習 1,746人 13,706人 14,913人 計 23,600人 392,457人 160,714人			
10. 看護師等の教育 施設数 大学(大学院併設) 6 短期大学 1 看護専門学校 12 助産師学校 1 幹部看護師研修センター 1 計 21 一学年養成定員 看護師 18校 1,235人 助産師 6校 88人 保健師 6校 149人 幹部看護師 1校 120人 介護福祉士 1校 30人			
11. 国際活動 国際救援・開発要員派遣(令和2年度) 5カ国 のべ6人 国際赤十字・赤新月社連盟出向 2人(スイス、マレーシア) 国際活動費(令和2年度) 19億円			

(特に所りのない統計数字等は、令和3年4月1日現在)

支部の現勢

令和4年4月1日 現在

役 員

支 部 長	塩 田 康 一	
副支部長	須 藤 明 裕	
	房 村 正 博	
本社理事	森 博 幸	
本社代議員		5 人
監査委員		3 人
評 議 員		40 人

赤十字奉仕団委員長及び団員数

赤十字奉仕団県支部委員会委員長 伊 佐 幸 子

・地域赤十字奉仕団(60団)

団員数 13,076 人

・赤十字安全奉仕団委員長 岩 屋 幹 夫

団員数 146 人

・青年赤十字奉仕団委員長 堀 段 怜 奈

団員数 13 人

・赤十字アマチュア無線奉仕団委員長 松 木 孝 生

団員数 331 人

・赤十字看護奉仕団委員長 (休 止 中)

団員数 0 人

・青少年赤十字賛助奉仕団委員長 野 村 大 綱

団員数 43 人

赤十字有功会

会長 松前邦昭 会員数 296 人(社)

青少年赤十字指導者協議会

会長 中村浩一

青少年赤十字加盟校・園

学 校・保 育 園 幼 稚 園 495 校園

青 少 年 赤 十 字 メ ン バ ー 89,432 人

会 員

個 人 会 員	283,210 人
法 人 会 員	1,497 社
合 計	284,707 人(社)

講 習 指 導 員

救 急 法 指 導 員	112 人
水 上 安 全 法 指 導 員	43 人
幼 児 安 全 法 指 導 員	35 人
健康生活支援講習指導員	25 人

医 療 事 業

病 院	1 病院
診 療 科 目	9 科
内科・リウマチ科・循環器内科・	
呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・	
麻酔科・放射線科・リハビリテーション科	
救 急 車 等 の 配 置	
救 急 車	1 台
災 害 救 援 車	1 台
一 般 病 床	120 床
医 師	20 人
医 療 技 師	38 人
看 護 師	99 人

血 液 事 業

血液センター・献血ルーム天文館・	
鹿屋出張所・川内出張所	
移 動 採 血 車	5 台
検 診 車	4 台
献 血 運 搬 車	20 台
(出張所を含む)	
医 師	7 人
医 療 技 師	5 人
看 護 師	34 人

社 会 福 祉 事 業

特別養護老人ホーム	
入 所 定 員 数	80 人
短期入所生活介護(ショートステイ)	2 床
介護職員・看護師	50 人

救 護 ・ 援 護 事 業

常 備 救 護 班	8 班
常 備 要 員	48 人
無線基地局・移動局	87 局
救 急 車	1 台
災害救援車(地区分区配備含む)	70 台
エ ア ー テ ン ト	2 基
フレーム式拡張テント	3 張
テント(地区分区配備含む)	146 張
災害物資保管庫等	83 カ所
炊き出し用釜セット	73 カ所

○ 支 部 の 沿 革

明治 10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年 9月	日本赤十字社鹿児島県委員部を県庁内に設置
29(1896)年 7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年 12月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年 11月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年 5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年 7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年 9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年 5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年 8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年 1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年 6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年 8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年 4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年 1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年 1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年 4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年 6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年 4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年 12月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年 11月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年 3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年 5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年 8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年 9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年 12月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年 4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年 4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年 9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年 2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年 3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年 4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年 8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年 5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年 3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了

60(1985)年	3月	錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年	8月	鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可
61(1986)年	2月	血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年	4月	血液センター400mL献血及び成分献血開始
61(1986)年	9月	血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成 元(1989)年	2月	鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年	3月	ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年	6月	血液センター業務をシステム化
2(1990)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年	11月	鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年	4月	血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年	10月	鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年	10月	鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年	3月	『日赤鹿児島百年史』刊行
6(1994)年	4月	鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年	1月	阪神・淡路大震災へ救護班2個班出動
8(1996)年	5月	鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年	10月	鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年	3月	鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年	2月	血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
10(1998)年	6月	鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年	5月	鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年	7月	鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年	3月	鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年	8月	鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
14(2002)年	6月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年	7月	赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年	1月	鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
15(2003)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
15(2003)年	11月	鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年	3月	血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年	7月	鹿児島赤十字病院「地域医療連携室」設置
17(2005)年	3月	鹿児島赤十字病院「救急病院」認定
17(2005)年	4月	鹿児島赤十字病院「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管
18(2006)年	3月	血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)

18(2006)年 7月	血液センター 「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
18(2006)年 10月	血液センター 「献血者健康被害救済制度」開始
18(2006)年 10月	血液センター 献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
18(2006)年 11月	鹿児島赤十字病院 MRI室増築 稼働開始
19(2007)年 1月	血液センター 全ての血液製剤について保存前白血球除去開始 (一部製剤は先行実施)
19(2007)年 2月	血液センター 採血時初流血液除去を開始
19(2007)年 3月	鹿児島赤十字病院 医療安全推進室を設置
19(2007)年 4月	鹿児島赤十字病院 言語聴覚療法を開始
19(2007)年 11月	鹿児島赤十字病院 放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成 一般撮影装置増設、DEXA装置更新
19(2007)年 11月	血液センター 九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
20(2008)年 1月	血液センター 検査業務を九州血液センターに集約
20(2008)年 3月	鹿児島赤十字病院 一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
20(2008)年 3月	血液センター 医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センター に集約(製剤業務の集約4/1付)
20(2008)年 4月	血液センター かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザか もいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン 特別養護老人ホーム錦江園 介護老人福祉施設および居宅サービス (短期入所生活介護)事業所指定更新
20(2008)年 6月	鹿児島赤十字病院 病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5) 認定
21(2009)年 3月	血液センター 生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、 GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
21(2009)年 3月	鹿児島赤十字病院 国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油 タンク)
21(2009)年 4月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院 として指定 血液センター 献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため 一時閉所
21(2009)年 7月	血液センター 献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
21(2009)年 10月	鹿児島赤十字病院 消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
22(2010)年 3月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡 鹿児島赤十字病院 錫山・火の河原出張診療所廃止
22(2010)年 7月	鹿児島赤十字病院 DPC対象病院として稼働開始
22(2010)年 11月	血液センター 「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
22(2010)年 12月	鹿児島赤十字病院 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入・稼働開始
23(2011)年 3月	東日本大震災(発災から同年8月までの間)、救護班5個班のほか、こころのケア 要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣
23(2011)年 8月	血液センター 鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曾於地区血液備蓄所 (曾於郡医師会立病院)閉鎖
23(2011)年 9月	血液センター 鹿屋出張所開設
23(2011)年 11月	血液センター 川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖

23(2011)年12月	血液センター 川内出張所開設
24(2012)年3月	鹿児島赤十字病院 平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年4月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年8月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年1月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年1月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年2月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年3月	鹿児島赤十字病院新東棟竣工
26(2014)年5月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年6月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を50年振りに再締結
26(2014)年11月	鹿児島赤十字病院本館改修工事竣工
27(2015)年1月	鹿児島赤十字病院増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会举行
27(2015)年2月	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年記念式典举行
27(2015)年3月	一般社団法人 日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年5月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害へ救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年8月	鹿児島赤十字病院永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
27(2015)年8月	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年2月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年4月	血液事業本部 生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害へ(発災から同年6月までの間)、医療救護班4個班及び災害対策本部支援要員等を派遣
28(2016)年7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年9月	血液事業本部 照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始
29(2017)年3月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブより、血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017)年4月	特別養護老人ホーム錦江園10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年7月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)
29(2017)年9月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖

30(2018) 年 3 月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
31(2019) 年 3 月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019) 年 4 月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和 元(2019) 年 8 月	令和元年8月豪雨災害により佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020) 年 7 月	鹿児島赤十字病院 県の要請を受け新型コロナウイルス感染者の入院受入を開始
〃	令和2年7月豪雨災害により熊本県へ支部職員1名派遣
2(2020) 年 8 月	新型コロナウイルス感染症対応として鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021) 年 3 月	沖電気工業株式会社から血液センターへ献血運搬車の寄贈
3(2021) 年 10 月	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から血液センターへ献血推進車の寄贈
〃	鹿児島南洲ライオンズクラブ、鹿児島ライオンズクラブから血液センターへ献血輸送車の寄贈
3(2021) 年 12 月	十島村役場からの支援要請に基づき、震度5強の地震を観測した悪石島に鹿児島赤十字病院の看護師と支部事務局の職員の計2名を約1週間派遣

赤 十 字 標 語 一 覧

1973年(昭48)	あなたとあなたの世界に赤十字
1974年(昭49)	いのちを守る赤十字！(救急法, 水上安全法, 家庭看護法の普及)
1975年(昭50)	赤十字: 危急のときのいのち綱
1976年(昭51)	行動する赤十字
1977年(昭52)	人の和を世界に広げる赤十字
1978年(昭53)	参加しよう赤十字
1979年(昭54)	愛に手で世界を結ぶ赤十字
1980年(昭55)	赤十字: みんなのためにどこにでも
1981年(昭56)	あなたとともに赤十字
1982年(昭57)	あなたの身近に赤十字
1983年(昭58)	とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
1984年(昭59)	人道を通じて平和へ
1985年(昭60)	あなたの若さを一赤十字
1986年(昭61)	いのちを救う愛の献血一赤十字
1987年(昭62)	幼い生命に愛の手を一赤十字
1988年(昭63)	伝統を明日への力に一赤十字
1989年(平成)	愛の手を世界に広げる赤十字
1990年(平2)	守ろう！人のいのちと尊さを
1991年(平3)	救おう！災禍にあえぐ人々を
1992年(平4)	災害に備えて守る尊い生命一赤十字
1993年(平5)	すべての人々に人間の尊厳を
}	
2000年(平12)	全ての人々に人間の尊厳を
2001年(平13)	人道は限りない力
}	
2004年(平16)	守ろう人間の尊さを
}	
2008年(平20)	人間を救うのは、人間だ。Together for humanity
}	
2012年(平24)	人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.
}	

